

第5回 みんなで創ろう！“新”臼杵庁舎を考える市民会議 グループワーク議事録

日時：平成29年12月17日（日）

会場：旧臼杵商業高校（建て替え）	P 2～P21	-203, 204 会議室
旧臼杵商業高校（リノベーション）	P22～P28	-203, 204 会議室
現 在 地	P29～P52	- 301 会議室
臼 杵 公 園	P53～P71	- 101 会議室
検 察 庁 跡	P72～P78	- 102 会議室
消 防 署 周 辺	P79～P82	- 第1委員会室
市民グラウンド	P83～P88	- 302 会議室

みんなで創ろう！ “新” 臼杵庁舎を考える市民会議 グループワーク まとめ

候補地 旧臼杵商業高校跡地（建て替え）
ファシリテーター 山下 莖三
班の人数 10名

《ファシリテーターの発言》

- ・市民会議のグループワークを始めたいと思います。第1班の旧臼杵商業高校跡地の新築グループです。ファシリテーターを務めます山下です。よろしく願いいたします。先程、山田さんのほうから説明があつて残りの4回のうちに、とにかくこの案がいいんだということをアピールするために、皆さんで上手く意見をまとめていければと思いますのでよろしくお願いしませう。
- ・とにかく皆さんが中心でいろいろ案・プランを固めていきます。このプランというのは先程言ったとおり、なぜここを選んだのか、ここが一番いいというメリット、それからここに移るとしても何かしらの課題がありそれをどのようにして解決していくかというところ、そしてその中に予算、工程・スケジュール、配置・プランニング。僕が全てを決めることはまず出来ないの、市の職員さんの補佐、設計事務所コンサルの力を借りながらこういったところをまとめていく。あと今日入れて3回ですね。今日が12月17日なので、3月にはもう発表することになりますので、こういった打合せ・会議を行うのは3回、その間に資料をまとめとかは私や事務の方にいろいろ要望を是非してください。この時には発表ですので、きちんと形がまとまればと考えています。そういった流れを皆さん意識してほしいなということと、おいおい発表してくださる方を決めたいと思います。もしくは既に僕がやりたいと思う方がいらっしゃる場合は手を挙げていただいても構いませんけど、ゆっくり決めていきたいと思います。
- ・これを進めていくにあたって、こういう風にしていったらいいんじゃないのかご意見がもしあれば、なぜ（この敷地を）選んだかは皆さんこの前話してたと思うので、またもう一回そこを掘り下げるか、それとも全体を話していくか。
- ・今日グループに置かれた資料はこの航空写真と都市計画地図、これは用途変更の必要があるかをみる資料です。それと台風18号により冠水した地域、災害のときどうだったかという資料と液状化の予測図、主に橙色・黄色のところは液状化の危険があるところです。それと臼杵市の組織図です。前回どなたかが臼杵商業高校のところが急傾斜地崩壊危険地域と被っているということでその説明をしていただければと思います。どのあたりが急傾斜地崩壊危険地域にあたるのですか。

《市職員の発言》

- ・川側のところが崖となっていてこのあたりが急傾斜地崩壊危険地域にあたります。下に民家がずらっと並んでいるのですが、そちらのほうが該当します。

《メンバーの発言》

- ・上がり口のところですか。

《市職員の発言》

- ・河川敷に家が並んでいると思います。そこが崖になっているところですね。

《ファシリテーターの発言》

- ・そこは少し当たれないということですか。

《市職員の発言》

- ・そうですね。そこに近づいて建物はできない。

《メンバーの発言》

- ・グラウンドの横ですか。

《ファシリテーターの発言》

- ・グラウンドの横というか、手前の入り口ぐらいのところですかね。

《メンバーの発言》

- ・川沿いに家があるところですね、グラウンドは関係ないですね。

《ファシリテーターの発言》

- ・ここは新築なのでグラウンドでつくるということですね。

《市職員の発言》

- ・模型を見ていただくとわかると思うのですが。

《ファシリテーターの発言》

- ・(模型を見ながら) この民家の人達に危険が及ぶことが想定される。

《市職員の発言》

- ・広さがあるので、建て方とかレイアウトを工夫はできるかと思うのですが。急傾斜地崩壊危険地域は避けたほうがいいと思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・最終的なプランをするときにここには建てませんと出せば良いのかなと思います。冠水も問題

はないと思いますので、液状化はどうか。

《市職員の発言》

- ・人口が集中しているところはほぼ何らかの色が付いています。

《ファシリテーターの発言》

- ・(臼杵商業高校跡地は) 黄色なのでそう心配はないということですか。これがどういう程度なのかはわからないのですが。全般的に範囲には入っているけれど、比較的という風なところだと思います。話す中で関係するところがあれば、またこの資料を見たいなと思います。

《メンバーの発言》

- ・ちょっといいですか。地元の方から聞いたのですが、商業高校跡地のところが岩盤になっていると聞いたのですが、要するに岩石が固まった状態で作られた大地になっていると。いわゆる砂地や畑とは違うと聞いたのですが、土質はどうかですか。
- ・臼杵は溶結凝灰岩なんですよ。臼杵は大体が溶結凝灰岩なんで、液状化の心配はありません。

《ファシリテーターの発言》

- ・比較的の地盤が固いほうが建物には有利じゃないかと思います。

《メンバーの発言》

- ・臼杵で間知石（昔の吉野石）が先ほどの溶結凝灰岩が川の周りに張り付いて大地になるので地盤的には問題ない。
- ・この土地もずっと掘っていけば下のほうは溶結凝灰岩ですよ。上のほうは埋め立てて土ですけど臼杵市内の大地は大体が溶結凝灰岩と考えてよいと思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・とりあえずメリットのひとつであると考えられますね。

《ファシリテーターの発言》

- ・どういう予算が使えるのかも、おさらいしておいたほうがよいと思います。また、いつまでにこの市庁舎の問題を解決して、いつまでにつくりたいのかというのをプレゼンしたいなど、それと関係して、庁舎をつくるのに全て臼杵市のお金でできればいいですけどそれは難しいと思います。

《メンバーの発言》

- ・この前見た資料の中で一番かかって20億円とあって、あれは何年で返済しないといけないのか、またそれが臼杵市の現在ある将来の財政にとって大きな負担になるものなのか。財政的な問題

はそういうことだと思います。あんまり財政の問題で市庁舎をどこにもっていくかを縛ってしまうのは、得策ではないと考えております。あれはあくまで最終的に案が煮詰まった時点で支払いをどういう風に組み立てていくかと。今の段階で財政問題を正面に出していくといろいろな制約が出るのではないかと思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・私の言い方が悪かったかもしれないです。これを使えるからこのうちに、これをおさめよということではなく、考え方としてこのような予算がありますよというのをお示ししたかっただけです。

《メンバーの発言》

- ・私たち素人からすると、市の予算が何億で何億の建物ができるとかというのはなかなかそこまでは難しい話であって、私たちはどこでどういう風な庁舎をつくりたいかというのがまず第一だと思います。今後こうやってどんどん時間が経って行って、あと3回のうちにプランを立ててプレゼンしていくためにはメリットとデメリットを言って、そのデメリットを克服するためには、例えば商業高校跡地であれば取付道路がない、だったらどっちからどのような道路をつくっていったら商業高校跡地が庁舎として上手く市民の皆様にご利用できるか、使ってもらえるかということを話して進めていったほうが早く事が進んでいくのかなと思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・そういう提案を受けましたので、そういう方向でよろしいですか。まず今日は、メリット・デメリットを深めていくと。

《メンバーの発言》

- ・それをアピールできないと商業高校跡地を選んだということを皆さんに私たちはここが良いから商業高校跡地を選んだのですよ、でもここがちょっと良くないからこうしたら良くなると思うのですよ、というので議論していくほうが良いのかなと思います。それと合わせて建替えではなく新築をしようと思ったのはこういう理由ですと深く議論できればと思います。
- ・デメリットは皆さんのアンケートを見させていただいて、まず最初に挙がるのがアクセス道路です。道路の問題、一本道しかないではないかということ。
- ・最初にメリットを挙げていったほうが良いのではないですかね。ここを選んだということなので、良いところをずっと言っていて、悪いところもあるよねという風に。

《ファシリテーターの発言》

- ・メリットは前回もお話したと思いますけど、土地が広く自由なプランニングがしやすいとか、高台で津波被害が少ない。

《メンバーの発言》

- ・全臼杵市で地理的に中心である。
- ・津波と水害も少ないですね。
- ・今の庁舎を機能させながら建替えをすれば良いので、(現庁舎の位置で) 建替えなら一回移らないといけないがそういうのもいらない。
- ・市役所の移転だけではなく、将来の臼杵市のあり方を考えた時に新しい町があそこ(商業高校跡地)にできることで、現庁舎がある部分が観光都市の中心として発展していくのではないかと、また発展させていかなければいけないのではないかとという風に。そして市役所が移転することによって、そこに新たな町がつくられていく、いわゆる三都物語ではないけれど二都物語的なものに臼杵市をつくり変えていく、そういうイメージが浮かんでいくのではないのかな。アンケートの中にそういう発言もありましたので。観光地としてあくまで残していくと。
- ・臼杵市が所有しているというのも大きいと思います。用地買収の時間、費用もいらない。

《ファシリテーターの発言》

- ・利用する人たちにとってどうですかね。アクセスは悪いけど、中心部なので行きやすいんですかね。

《メンバーの発言》

- ・人口分布を見ると、市浜や下南付近が多くなっているから、ちょっと市役所に行こうかという時に比較的良いのかなと思う。

《ファシリテーターの発言》

- ・段々南の方に移っていつているのですね。その流れからしても良いということですね。

《メンバーの発言》

- ・津波とか災害があったときに、市役所とか警察とか土木事務所とか頼ると思うのですが、全部がこのあたり(中心市街地)にあるので全部が一遍にやられてしまい頼る人がいなくなる。
- ・家がなくなった人がテントで生活するときにあのぐらい広い土地(商業高校跡地)があったら、物資を運ぶヘリコプターが降り立つところもつくれるし、そこに皆さん4~5日はいれる場所を防災の面で避難所として確保はできるのかなと思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・まず何かあったら自衛隊の人たちが現地に入りますが、そういった場所も本当は必要ですね。仮設の住まいやお風呂もつくったりもできますので、そういったスペースが作りやすいかなと思います。

《メンバーの発言》

- ・水害は津久見を見てて、テレビでしか見たことなかったけれど、ボランティアで行った時に泥

がきててすごいなと思っていました。そういう時に市役所としての機能を果たさなかったり、職員の人がまずはそこから片付けなければいけないことが大変なのかなと思います。この前白杵に台風がきて水害があった時に、商業高校跡地に行く道のどの辺が水に浸かって、市内に行けなくなったのかを教えてください。

- ・トキハのところあたりは抜けることができた。駅前のところは少し浸かったぐらいで、あと市浜と土橋が浸かっている。土手沿いの道は大丈夫だった。荒田の方は良かったが深田のところは浸かる。

《ファシリテーターの発言》

- ・土橋はポンプが上手く作動しなかったという話ですね。

《メンバーの発言》

- ・そこを通れなくても消防の後ろのところから抜けたら商業高校には行くことができます。上北から清掃センターのところを通っても行くことができますので、水害があったとしても抜ける道がある。
- ・最悪孤立はしないということですね。

《市職員の発言》

- ・大地震が起こった時は道が崩れたり、瓦礫や木が倒れたりするのですが、救援は高速道路を通じてかヘリコプターになると思います。

《メンバーの発言》

- ・インターに近いのもメリットですね。
- ・高速道路に近いのも一つの要件ですね。

《ファシリテーターの発言》

- ・高速道路に近く、救援がしやすい。冠水しても行けるルートがある。この前の台風被害があったとしても、この位置では大丈夫ではないかということですね。

《メンバーの発言》

- ・地理的に中心ということは市の職員の方も通勤がしやすい。日中野津を何往復もしたというのを聞くのですが、野津庁舎とも近くなるので市の職員の方の利便性も良い。

《ファシリテーターの発言》

- ・仕事の利便性も良くなるということですね。現段階では、市役所を一つとする案も分散というものもありますけれど、それにしても職員の人やりやすくなるということですね。この中に野津の方はいらっしゃらなかったですよ。野津の方の意見もあれば良かったのですが。メリッ

トとして、新築と改築がどう違うのかはありますか。

《メンバーの発言》

- ・学校の施設と市役所の施設は元々目的が違ってつくられていますので、それを代替する案は学校施設を役所施設に変えるのは無理があると思う。それをやろうとすると逆に住民にとって不便な役所になってしまうと思う。最初から市役所の目的に合った建物でなければならないと思う。使用目的が違うということです。
- ・この前建物の中を見て、使える部分がそんなにないのかなと思う。それと中の部分は働いている方たちが働きやすい設計とかバリアフリーで行きやすい建物を考慮して、古屋の造作ほど金がかかるのではないけれど、きっちり設計をすればそれほど高価ではない建物もできるのではないかと思います。私たちの子どもや孫が働くようになったときに、便利な市役所で外から来た人が白杵の市役所はいいねと言ってもらえるような建物をこの機会につくるべきだと思いました。

《ファシリテーターの発言》

- ・(商業高校の) 広い廊下は面白いなと思いましたね。あそこに僕らみたいな NPO や市民団体が入ったりするといろいろなことができそうだなと思いました。実際にあそこで働くことを考えると、動きづらいし、市民の人もわかりづらいのかなと思いましたね。

《メンバーの発言》

- ・耐震改修は終わっているのですかね。

《市職員の発言》

- ・真ん中の一棟だけ終わっています。

《メンバーの発言》

- ・商業高校にブレースがあるが、未来の子どもたちに残すのにどうせなら夢のあるものにしたい。
- ・市のイメージは大事ですね。安ければ良いというのではない。佐伯市役所は新しく作り直して町の表情が違うんですよ。プライド・自慢があり、みすぼらしい市庁舎は嫌ですね。
- ・耐震(改修)しているところは窓が小さくなっていると説明を受けました。

《設計事務所の発言》

- ・そうですね。耐震壁を足した分窓が小さくなっていると思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・元々学校校舎は窓面が大きくて、教室に十分な明かりをとらないといけないので柱だけというようなところもあるんですね。そこが地震のときに力がかかって脆くなったりするので壁をつくったりするのですが、快適性はなくなりますよね。

《メンバーの発言》

- ・ 体育館は耐震改修してないと言っていましたよね。避難所としても使えないと。
- ・ 東京新宿のビル群は耐震改修をしてるんでしょ。いろいろな問題があったとしても技術力でカバーできると思いますよ。

《ファシリテーターの発言》

- ・ おそらく今の建物を活かして設計するとなると、このようなことを考慮しだすとコストと手間がかかると思いますね。

《メンバーの発言》

- ・ 新築の方が人に優しい建物ができると思いますね。働いている人にも優しいし、そこに来る市民のためにも優しいものができると思います。お年寄りや身体の不自由な方とか。今の建物は別の用途に使えばいいと思います。例えば、最近ニュースで見たんですが愛媛県の人が避難してきた時に利用することもできるし、NPO 団体が利用することもできると思います。
- ・ 今の校舎を残すということですか。
- ・ そうです、残して今のグラウンドのところに新たに建てるということですね。

《ファシリテーターの発言》

- ・ そこをまだ皆さんで話していなかったですね。新築はグラウンドのところに建てるか、商業高校を壊してそこに新築するか。

《メンバーの発言》

- ・ 今の校舎を壊して新築です。体育館も耐震改修していないから避難場所としても使えないから。
- ・ でもせっかく耐震（改修）している棟もあり、最近行っているので有効活用するべきですよ。
- ・ これから 2 年経たないと着工にはかからないとか言っていたら、耐震の時間もかかり無駄だと思う。
- ・ 入札とかで壊すだけでも 1 年とか時間がかかり、それから建てるとなるとさらに時間もかかるので私はグラウンドがよいと思います。
- ・ 体育館は壊して、耐震改修が済んでいる棟は残す。壊して処分するのにも費用がかかりますから。
- ・ 必要な棟だけ残してもよいのでは。
- ・ 庁舎はグラウンドに新築か校舎跡地に建替えか。

《ファシリテーターの発言》

- ・ これについては特に制限はないようなので、皆さんで良いほうを考えましょう。グラウンドに建てた方がコスト的にも時間的にもかからないとは思いますが。

《メンバーの発言》

- ・そうした時には駐車場が少なくなるということですよ。

《ファシリテーターの発言》

- ・建物を高くすれば駐車場は確保できると思います。駐車場も立体駐車場という案もあります。

《メンバーの発言》

- ・屋上を駐車場とすることもできますから、あれだけ広さがあれば駐車場は問題ないですよ。
- ・でも白杵の人は立体駐車場の上の方に行きたがらないですよ。
- ・グラウンドは校舎のあるところより低いので、駐車場を建物の屋上にした方が便利ですよ。

《ファシリテーターの発言》

- ・今は市民用で駐車台数は何台ですかね。

《市職員の発言》

- ・全部で 503 台です。内訳は来庁者用が身障者用も含めて 117 台、公用車 90 台、議員用が 18 台、残りが職員用 278 台です。

《メンバーの発言》

- ・駐車場としてきちんと確保していれば、災害時も使えるわけで他の市町村と比べる必要もないのではないかと思います。いっぱい確保できる土地があるというのは、いっぱい使い方があると思います。職員の方に歩いて行かせるのはしんどいと思います。そのためにも職員の通勤のための駐車場を確保することの方が、災害時にも職員の方がすぐに集まれると思います。
- ・津久見市役所の個人の車がやられたと聞いていますが、ここだったら心配はないですよ。

《ファシリテーターの発言》

- ・(津久見市役所は) 横のグラウンドに車を停めていましたけど、そこが浸かっていましたね。グラウンドに新築を建てるか、校舎を壊して建替えるかはどう進めていきますか。

《メンバーの発言》

- ・今のところを壊して斬新な形で作り直した方が良いと思います。
- ・グラウンドに建てるか、今の校舎のところに建てるかを決めないといけないのですか。
- ・ここで新築するという事は、今の校舎を壊して建替えることだと解釈していました。
- ・私はとりあえず新しいをつくれれば良い。新しいのは広いグラウンドがあるので、十分新築することができるので壊す必要がないと思います。
- ・耐震性があるものは残して他は壊せば良い。
- ・中央に一棟だけ残っても中途半端だと思う。

《ファシリテーターの発言》

- ・一番手前の管理棟が割りとグラウンドの中心部に近いので耐震（改修）をしていれば使いようがあるのかもしれないね。

《市職員の発言》

- ・耐震（改修）している建物は管理棟で、普通教室棟は大規模改造と書いているので耐震補強しているとは限らないと思います。

《メンバーの発言》

- ・新しい建物の横にみすぼらしい建物があるのはイメージとして良くないと思います。

《市職員の発言》

- ・壊すのにもお金はかかりますが、維持費にもお金はかかりますね。

《メンバーの発言》

- ・どの程度の使い道があるかという、あまりないように感じた。全部を改修しようとしたら壊すよりもお金がかかるのではないかと思います。
- ・中臼杵に文化財資料館があり、そういう資料館が市役所の横にあれば良いと思う。中臼杵に文化財資料館があっても誰も行かないと思う。市役所の横に置けば、市民の人が目にする機会も増えます。みすぼらしくないように改装すれば良い。中臼杵の文化財資料館だって維持費がかかっており、利用する人も少ないと思います。そういう施設を多く利用できるようにする。
- ・グラウンドに建てるとしたら結構な面積になり急傾斜地に近くなり危険性があるため、それよりは今の校舎跡地に建てて安全・安心な立派な新庁舎を建てるほうが良いと思います。
- ・高台のシンボルとしては、2段あれば普通上ですよ。
- ・駐車場を下にして、スロープをつくり皆さんが行きやすいようにしていく方が見栄えとしても良いと思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・グラウンドに建てた方が道路から注目されやすいとも考えられますけど。

《メンバーの発言》

- ・竹藪があつて（道路からは）あまり見えない。高台に庁舎が建つ方が見えると思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・前回の時に木造平屋でゆったり計画できるという意見がありました。

《メンバーの発言》

- ・私が言いました。その方が優しい建物ができるのではないかと思います。3～4階建てになるとエレベーターとか余分な施設が必要になる。エレベーターとか1基1,800万円ぐらいしますから。
- ・あまりお金のことを言い出したら良い案はできないと懸念しています。お金のことを心配するのは良いのですが、それでは新しい町、新しい市役所をつくる話になりにくい。

《ファシリテーターの発言》

- ・公開の時に一般市民の方に説明する際お金の話は必要になると思いますので、終盤の時にお金の話をしましょうか。

《ファシリテーターの発言》

- ・それでは再開したいと思います。皆さん考えがあればどんどん言ってほしいと思いますけど、今まで新築のいいところ（メリット）でしたがこれからはこの悪いところ、多分雪が積もったら登れないようだとか、思われるところをホワイトボードに書いてみました。（略地図）国道502号の幹線道路から入口が橋を渡って一本しかないという状況です。下のほうに家があってこの辺が先ほど言った傾斜地です。体育館があって、管理棟、校舎、グラウンドがあり、アプローチもあります。

《メンバーの発言》

- ・アクセスが一本しかないというのが、反対側にも狭い道があり、その道を広くしたら野津のほうからも来られる方が便利なのかなと、竹場のほうから上がる道がある。橋を渡って行ける道があり、途中ガクッと曲がるすごく狭い道、車1台やっと通る道で離合はできない。ガソリンスタンドのところから橋に入る。

《ファシリテーターの発言》

- ・狭い、離合は困難だがお互い譲り合って通れるところもあるんですね

《メンバーの発言》

- ・野津との中間で地理的条件で白杵商業を選んだのであれば、野津からの道を改良してあげるほうが皆さんが行きやすいと思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・各7グループが1分ないし2分で今日のことを簡単に説明しないといけないのですが、皆さんのどなたかがしてもらいたいとコーディネーターから指令がありましたので、ホワイトボードを残しておきますので簡単に今日こういうことを話し合った経過をどなたか先に決めたい。

《メンバーの発言》

- ・私がやります（みなさん拍手）

《ファシリテーターの発言》

- ・アクセスの問題と。

《メンバーの発言》

- ・アクセスに通ずるのですが高台はいいところもあるが、自転車・徒歩の人が今まで行けたところが坂を上るのが大変かなと思う。
- ・関連して公共交通機関が上のほうに行っていないと思う。学校がある時は行っていたかも知れないが、その辺の働きかけをして公共の交通機関が立ち寄れるようにしてほしい。

《ファシリテーターの発言》

- ・市民の声を大きくして行政に働きかけを。

《メンバーの発言》

- ・今のところが栄えていない。周りが田んぼだらけでちょっとパンを買うにも何も無い。

《ファシリテーターの発言》

- ・救急とか医療とか期待できるかも知れないですね。

《メンバーの発言》

- ・医療あたりは心配ないと思う。病院が近くにあるから。コンビニもあります。しいて言えば港から遠い、耐震岸壁が白杵港にあるわけですからそこから遠いということです。例えば大きな船で救助船とか物資が来るときに、何というのでしょうか・・・

《ファシリテーターの発言》

- ・物資の面で届くのが遠い。

《メンバーの発言》

- ・船だと大量にたくさん運んでくれるでしょう。トラックがというのもあるでしょうけど。だからしいて言えば港から遠い、アクセスが確かに1本しかない、もうひとつは人の問題でしょうけど今の街から遠い、その3つですね

《ファシリテーターの発言》

- ・デメリットの話はずしりと重くなってきますね

《メンバーの発言》

- ・デメリットでもここを改善して欲しいとかあるけど、港から遠いとか市街地から遠いとか別に改善しなくてもそれは現実的であって、現市役所ができるときも何もないところからポツンとできてそこに付随して建物がだんだんできてきたわけであって、市役所が移転すればまたそちらに必要な建物とかができるであろうから、市役所が移ることによって町のあり方がだんだん変わっていくので、ここを変えてほしいというのは無いデメリットではないかと思う。
- ・現庁舎ができたときは周りはポツポツだったのですか。
- ・そうです。あんな遠くに市役所がいくんだなと子供心に思った記憶がある。
- ・できれば栄えていく。
- ・白杵の町は観光プラザがあったところが中心で警察署とか市役所とか郵便局とか全部

《ファシリテーターの発言》

- ・周辺はほんとに田んぼとかですか、農業とかにそんなに影響はないですか。

《メンバーの発言》

- ・あるかも知れないです。
- ・配った資料の中には農業振興地域だから周辺の開拓とかむずかしい、広げられない。
- ・何かしないといけないと聞いている。

《ファシリテーターの発言》

- ・農業振興地域の解除じゃないですね

《メンバーの発言》

- ・用途変更ですかね。

《ファシリテーターの発言》

- ・(都市計画図を広げて) 都市計画区域に入っているが用途地域に入っていない。農業振興地域は計画図に入っていない。

《メンバーの発言》

- ・農振も審議会をかけた認められれば問題ない。

《ファシリテーターの発言》

- ・現状がこうなのでそう問題にならないかなと思いますが

《メンバーの発言》

- ・ほかにデメリットがない。

《ファシリテーターの発言》

- ・ここが減茶苦茶いいということですね。

《メンバーの発言》

- ・下水とか通っているのですか。

《市職員の発言》

- ・農業集落排水じゃないですかね。

《ファシリテーターの発言》

- ・上水・下水の問題はどうですか。高校があったから普通の生活・トイレとかOKだったんでしょうね。上水はOK。

《市職員の発言》

- ・農業集落排水です。

《ファシリテーターの発言》

- ・今度市庁舎の規模で計算してもOKなんですか。その辺は改良しないと、新庁舎の規模がわからない。

《メンバーの発言》

- ・学校がOKだからOKでしょ。学校は生徒の数だけ人がいるわけで。
- ・700・800人いたでしょう。

《ファシリテーターの発言》

- ・今の規模と、今度の市役所の設計の規模でどうなるか、細かいところはOKでしょう。

《メンバーの発言》

- ・港が遠いといいましたが、昔も同じだったと、その通りだと思いますが私が言っているのはそういう意味ではなくて町に住んでいる方々の同意というか、そういうのが難しいという意味です。人と人の問題がありますねということです。

《ファシリテーターの発言》

- ・一般市民の人がどう考えるか。

《メンバーの発言》

- ・今住んでいる方のお気持ち、説得といのが一番のデメリットかなと思って発言したのであって意味を取り違えている。

- ・今歩いてここに来られている方はここにいくと当然大変だからそういう方の説得ですね。
- ・そうですね。だから、この臼杵商業がいいと言っているメンバーが多いわけですから、どれだけその方々のお気持ちを納得するような形の役所にするか、ちょっと難しいですけど、それが一番の問題でアクセスとかむしろその後だと思いますね。
- ・説得するためにはメリット部分をどんどん言ったほうが説得しやすいのでは。

《ファシリテーターの発言》

- ・メリット部分を言わないとこの班がプレゼンする意味がない。

《メンバーの発言》

- ・人の問題が一番難しいと言ったつもりです。
- ・デメリットが少ないのがメリットです。

《ファシリテーターの発言》

- ・家のパソコンでオンラインだとかわざわざ役所に行かなくていい時が来るかもしれないし、何かそれを踏まえてこういう風に便利になりますよと言えればいいですね。
- ・臼杵市の人以外でもメリット・デメリットはありますか。例えば大分から来た人が分かりやすいとか。

《メンバーの発言》

- ・今、ナビがあるから問題ないです。
- ・市外の方はインターに近いほうが便利だと思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・確かにそれはメリットですね。
- ・次回はこれをまとめてもう 1 回振り返って課題をだす、課題というのはメリットをより鮮明にしたりデメリットの解決方法を、極端に言えば真ん中に橋をかけて道を通すだとか、そういった提案をするんだと思うんですけど、最終的にはそこに造り上げるスケジュールだとか、それに伴う行政のコストだとかそういったのを最終的にまとめて最後にプレゼンという形になるんだと思います。後、技術協力してくれている設計事務所の方もいるのでここでこういう絵を書いてよとか、今後お願いしたいなど。どなたか前回プランを考えてた方・・・

《メンバーの発言》

- ・今日は忘れました。自分なりに絵を画用紙に書いたんですが。
- ・私の勝手な思いですが、3 階・4 階建てでもいいですが平屋建てもひとつ考えて欲しいと思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・ここでどういった機能があればいいかなとか、市役所をつくるのにコンビニを誘致するかそういう案もいいかなと思うし

《メンバーの発言》

- ・臼杵市をアピールできるもの、臼杵市らしいもの例えば石仏だとか城下町だとかそういったイメージできるような、中の使い勝手は職員の方しかわからないが、外観を見たときに臼杵市らしいイメージできるような。
- ・物産店が少ないので、お土産を買いたいのだがどこに行ったらいいんですかと聞かれたりするんですけど、さあ、今どこに行きますかねえという感じでなかなか説明できないですよ。いや、マルショクとかそういうところに行ってくださいとしか言いようがない。前はトキハがあったのでできていたが移転した。臼杵のものを買いたいとフェリーから降りた方からよく聞かれるが言いようがない。
- ・臼杵商業跡地に庁舎が移転したら現庁舎がなくなるわけで、今の庁舎の跡地はどういう風にするのとなったときに何かいい案とかが重ねて関連して、こういうものが出来たら臼杵市らしいよね、行政のゾーンと観光のゾーンを分けて、例えば港湾を最初計画していたらしいのでウォーターフロントみたいな部分で公園とか観光に来た人が遊べるような・憩えるような場所と一緒に関連して考えるとここ（現庁舎）が無駄にならないのかと思う。

《ファシリテーターの発言》

- ・多分そういうプレゼンをするとう市民は納得しやすいでしょうね。ここはこういう活用したほうがいいですよみたいなのができるとですね。

《メンバーの発言》

- ・だから無駄にはならないんですよ、みたいな部分で提案できればなと思う。

《ファシリテーターの発言》

- ・いいですね。是非ともそこは主婦感覚で。

《メンバーの発言》

- ・グランドが広いので周りに太陽光とか、山があつて風力とか自家発電で災害の時とかできるようなものがあれば。

《ファシリテーターの発言》

- ・自然エネルギーが問われているので、庁舎も何かあった時に自家発しないといけないと思いますけどソーラーも今問題がありますからね。そういったものを取り入れて、課題みたいなことを言っていますがどうでしょうか。なかなか発言されていない方、ぜひとも言ってください。

《メンバーの発言》

- ・白杵の目玉になるようなものを。市外、県外からも来れるような。どこかの県庁舎は屋上のレストランを観光に。
- ・白杵の土産って何。
- ・白杵せんべい、かぼすジュース、甘太くんもいいですね。

《ファシリテーターの発言》

- ・前に東国原さんが県知事の際は県庁が観光地だったんですよね。すぐ横に物産館も造って、日曜日の朝から賑わってました。あと展望台を開放して夜景をみせるところもありましたね。あとどうでしょうか。

《メンバーの発言》

- ・何か垢抜けしたものをつくりたいな。
- ・白杵の一番の魅力は観光です。というか石仏です。ですが石仏を見て皆帰るんです。石仏以外で観光の目玉になるものを市街地に持ってくると、市街地と市役所のあるところと連結すると、そういうことを考えたらいいと思う。観光地として素晴らしいものにすべきだ。私が注目しているのは基督教の墓地がありますよね。ああいうものを利用したらいいと思う。具体的には野津なんですけど、野津まで見に行く人は中々いないんですよね。等身大なものを町なかにつくって、ほとんどレプリカのようなものをつくって、基督教と大友宗麟と白杵石仏ということで観光の目玉が2つ3つになるわけで、町の人にも説得できるのではないかと思っています。

《ファシリテーターの発言》

- ・基督教と石仏と宗麟。

《メンバーの発言》

- ・搔懐にあるでしょ。基督教の遺跡があるから搔懐を活かすということがひとつと、大友宗麟は中心市街地に宗麟の時代の馬ぞろえ、戦いに行くときに騎馬隊が一行に並んで戦いに行くというような馬ぞろえの場所でもあったんですよね。それは歴史的に証明されているから、今言われたものを街の中に・・・
- ・街の中に持ってくるというのはいい具合に市役所の跡地があくんですよね。
- ・こちら（現庁舎）が空洞化というか人が少なくなるので観光みたいなものを。
- ・こちら（現庁舎）が空洞化させないようなものを合わせて案にすれば白杵商業のところ市役所をもっていくという意味もでてくると思う。

《ファシリテーターの発言》

- ・竹田市がキリシタン文化が残っているらしくて洞窟の形とかが基督教の形をしていて、竹

田市が目玉させようと資料館をつくってPRしている。九州はあちこちそういうのが残っていると思うので、そういうのを掘り起こしてまた新たな観光資料にしたら面白いかなと思う。

《メンバーの発言》

- ・皆さんに聞きたいんですけど、観光地臼杵というのは竹田みたいなイメージですか。白塗りの壁、瓦が黒でというイメージですか。
- ・そこまで考えていない。臼杵の町で今ある観光資源、臼杵の市民でさえあまり知られていない観光資源があるのにあまり活かし切れていない、それを活かす意味で街のほうにもってきて市街地を発展する一方で、市役所は臼杵商業のほうに持って来ればいいのではないかということです。
- ・イメージ的にはそういう印象がある。観光プランにしても建物にしても、それに近い庁舎をつくるほうが統一性があるって庁舎そのもの建物としては、やっぱり今市が進んでいっている統一性とかを図っていったほうが街並みとしてはきれいに見えるし、庁舎もきれいにみえるんじゃないかなと思う。
- ・平屋と言っていたのでああいうイメージかなと。
- ・正直言って階段がないほうがお年寄りにはいいだろうと。
- ・結局は端から端が長くなるだけで、入るところを作ればいいんでしょうけど、そこまで行くのが、平屋になると端から端まで歩くのがね。
- ・竹田市役所がたしかお城みたいになっていると思うんですけど、高台にあるような感じでものすごくお金がかかっている感じなんですけど、お金は別の観光が発展するようなものに使ったほうが良いと個人的に思っていて、市役所を建てるときにあまりに凝った屋根とかにお金をかけるよりも機能重視で。
- ・市役所はシンプルな方がいいですね。
- ・ここ（現庁舎）の土地も空きますし、こちらも発展するようなほうにお金が廻ったほうがいいのかと私は思う。

《ファシリテーターの発言》

- ・竹田市は平成2年のときの水害の被災を受けて、高台に御殿みたいな建物ができた。コンサルの方に特徴的な外観とかそういう資料とかありますか。臼杵と同じような城下町のこういう風な庁舎のデザインをやっているとか。もし何かあれば次回にお示しいただければ。

《設計事務所の発言》

- ・次回の時までには調べます。

《ファシリテーターの発言》

- ・最後プレゼンの時にこういったイメージで観光にもつなげるとか、多分いいと思います。
- ・結構いろんな意見が出たと思いますけど。具体的な市役所の機能をみて、この敷地の中でこう

いう風なレイアウトをしたほうがいいとかいうのは、追々まとめたいなと思いますけど。この敷地の大きい配置図があればいいですね。皆さん考えやすいかも。敷地の全体拡大図を次回までに準備します。

《メンバーの発言》

- ・それが一番大事ですよ。土地がいいんだから大したデメリットはないです。

《ファシリテーターの発言》

- ・皆さんで次回あたりぐらいここにこういうのがあったらいいなとか、ここは市民が使えるところとつくりたいなとかそういう風なワークも入れていきたいなと思います。

《メンバーの発言》

- ・最終的には商業の跡地で新築でというのが皆さんにアピールできて、納得していただけるような推薦ができるような結論をまとめていきたい。

《ファシリテーターの発言》

- ・他の候補地に負けないプレゼンを作りましょう。他のここ（現在地）の活用も考えた案というのは市民の人にも分かりやすいかなと思います。下手したらちょっとした出先機関だけはこのに残すよみたいなこともあるかもしれませんね。

《メンバーの発言》

- ・出先機関は観光プラザは借りられないですかね。この距離で二重三重でするよりも、なくなった部分であつたら便利だよというのは観光プラザの中でしたらこころ辺の方たちは不便をしないような

《ファシリテーターの発言》

- ・あと、町なかで空き店舗のようなものはありますか。

《メンバーの発言》

- ・この検討が進んで最終回あたりに考えないといけないのは、臼杵市が持ってる建物を本当に有効に活用しているのかどうかというのをリチェックして、他の目的に変えて使う、十分に機能してない、使っていないところ結構あるんですよ。だからそういう所をもう1度チェックして点検して、いま話にてた観光物産を置くとか情報・ひとつの支所的なものに機能させるとかもっと可能性はあると思う。
- ・最終的には臼杵の街を大きく見直していく。

《ファシリテーターの発言》

- ・せっかく観光プラザが町なかにあるので市民がそこにいてもらう手はありますね。

- ・(配布資料を見ながら) 下水道庁舎はどこですか、こども子育て総合支援センターは、観光プラザはあそこですね、公民館がそこですね。割とここに集中してるんですね。
- ・今日のところはそういうことにして、次回から私なりに考えてまた意見交換したいなと思います。この後メンバーの方発表をお願いします。

以上

みんなで創ろう！“新”臼杵庁舎を考える市民会議 グループワーク まとめ

候補地	旧臼杵商業高校（リノベーション）
ファシリテーター	行平 真也
アドバイザー	山本 秀樹
班の人数	7名

《ファシリテーターの発言》

- ・ 臼杵商業跡地のメリットとデメリットを整理しましょう。デメリットに関しては課題と捉えまして補えるのであればその方法を考えましょう。例えば市内中心部から遠いという点に関しては対応のしようがないが、市民の理解を得られるのか？またはサテライトオフィスを設けるのか？などの提案を考えてまとめていきましょう。また、今日すべてのメリットとデメリットを議論すると時間がなくなってしまうので、設計事務所の方3名とアドバイザーの山本さんに入ってもらってデメリットをどう解決するのか考えていきましょう。

《メンバーの発言》

- ・ 臼杵商業跡地は班が新築と改修の二つあるので、どうして改修なのかということも議論しておいたほうが良い。新築と改修の違いを考えるべき。

《ファシリテーターの発言》

- ・ 本日最後に全体で議論のまとめを発表しなければならないのでどなたかお願い致します。それではAさんお願い致します。
- ・ 3月の全体でのプレゼンテーションではどなたか発表していただける方いらっしゃいますか？市民の会なので市民のかたがプレゼンを作成したほうが良いとおもいます。それではBさんお願い致します。

《ファシリテーターの発言》

- ・ 崖崩れの説明をしていなかったのでアドバイザーの山本さんお願い致します。

《アドバイザーの発言》

- ・ 前回の会議で建設候補地の傾斜が急なのが何故危ないのかが分からないという質問がありました。この資料は県の方で定めている崖崩れの危ないところの指定の基準というものです。臼杵商業跡地は傾斜が急で30度以上。また、崖の高さが5メートル以上あり非常に大きな崖があります。なおかつそこに人が住んでいます。商業高校跡地の場合は敷地に面した斜面の所が指定をされています。高台に移すということはメリットですが、このような潜在的なデメリットも有るということをご理解いただきたいです。

《メンバーの発言》

- ・ 傾斜だけでなく地質を知りたい、土なのか岩なのかどのくらい崩れやすいのか。また液状化の地域に指定されているのでどのくらい危険があるのかを詳しく知りたい。

《アドバイザーの発言》

- ・ 次回までに詳しい情報が出せるようにします。

《ファシリテーターの発言》

- ・ 液状化についての詳しい説明資料を次回までに出来るようにしましょう。今ある資料だと校舎の半分が赤く指定されています。

《メンバーの発言》

- ・ 校舎は40年前に建っているが、今の液状化の基準を満たしているのか知りたい。
- ・ 崖崩れだけでなく土砂崩れの資料も欲しい。

《メンバーの発言》

- ・ 現校舎は窓をコンクリートで埋めて壁にして耐震化をしたと聞いたが今の基準を満たしているのか知りたい。

《設計事務所の発言》

- ・ 現校舎は公共工事で耐震補強を行っているので当時の耐震基準を満たしているはずですが。工事が終わって年数が経っておりコンクリート等が劣化している可能性があるため、再利用する場合にはコンクリートの耐震診断等が必要になると思います。

《メンバーの発言》

- ・ 当時の基準とは震度どのくらいですか？

《設計事務所の発言》

- ・ 震度で一口には言えませんが、建物が倒壊して人命が失われることはないような補強はしていると思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・ 我々はリノベーションが安いという意識ですが、耐震強度を調べる調査が必要で、その費用も全体費用に盛り込むことが必要になります。

《メンバーの発言》

- ・ 他の候補地は液状化の危険はありますか？

《ファシリテーターの発言》

- ・ 現在地、検察、消防は液状化の危険がある地域に入っています。

《メンバーの発言》

- ・ 液状化の対策はありますか？

《アドバイザーの発言》

- ・ 地盤改良という方法があります。施工する場所が建物の周りだけなのか、敷地全体なのかで費用が変わってきます。

《メンバーの発言》

- ・ 高台での液状化がどのようなものなのかイメージできないので事例があれば知りたい。

《設計事務所の発言》

- ・ そういう事例はなかなか無いと思いますが、液状化というのは水が地表に浮き出てきて地盤がゆるくなる現象です。建物自体は支持層まで杭を到達させるので傾いたりすることはないと思います。ただ、周りのアクセス道路や駐車場のアスファルトが波打ったりすることはあると思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・ 危険についての質問と課題が大体わかりましたので次回に回答できるようにしておきましょう。それでは皆さんがなぜリノベーションが必要なのかという議論を進めていきます。白杵商業跡地が良い理由と新築ではなく改築が良い理由を一人ずつ伺っていきましょう。

《メンバーの発言》

- ・ 白杵と野津の中間点である所が良い。
- ・ リノベーションは費用が安くできるのではないか。
- ・ 後世に負担を残したくない。
- ・ 高台で災害に強い。災害時に司令塔になる。
- ・ 津波や地震が問題になっているのに現在地にお金をかけて建て理由がわからない。
- ・ ムダを無くして使えるものを使っていくのが良い。質素で白杵らしい建物が良い。
- ・ 白杵商業跡地は市の土地なので経費を安く建てられる。新たな場所に土地を取得すると莫大な費用がかかる。以前、コミュニティーセンターを作る際もなぜ市の土地に作らないのかという声があった。税金で作るのでなるべくお金がかからないようにしてもらいたい。

《ファシリテーターの発言》

- ・ 白杵商業跡をリノベーションした際の試算がないので、これから作っていきましょう。

《メンバーの発言》

- ・最近では白杵インターチェンジ近くのほうが昼間の人通りが多いので、白杵商業跡地の方が良い。
- ・試算が出ていないので何とも言えないが、リノベーションのほうが安上がりだと個人的に思うのでこの班にいます。
- ・農地の関係で白杵商業跡の周辺は開発できないかもしれないが、あえて農地を残すことで白杵は農業を頑張っているというアピールポイントになるのではないか。
- ・新築より高くなるリノベーションは反対。
- ・学校から役所への転用は可能。
- ・白杵商業跡の建物は3棟あり大きいので市役所だけでなく、国や県の施設（土木事務所等）も一緒に移転できるのではないか。総合庁舎化も可能だと考える。
- ・建物が大きいのでリノベーション後に民間企業にも貸出可能ではないか。
- ・人口が減っていくのでコンパクトな市役所で良い。
- ・今、市庁舎周辺にある司法書士、行政書士事務所に貸し出せるようにリノベーションしてはどうか。

《ファシリテーターの発言》

- ・白杵商業跡の周りは農業振興地域なので、現状のままだと開発できないのでデメリットですが、皆さんの意見はどうでしょうか？農地のままでよいでしょうか。

《メンバーの発言》

- ・アクセス道路は拡張することが必要。
- ・白杵商業跡地は広いので敷地の中にコンビニを建てれば良い。
- ・周りは農地のほうが、緑が豊かだという白杵のアピールポイントになる。
- ・農業振興地域を外すには何年もかかる。

《ファシリテーターの発言》

- ・ここでは農地をそのままにして農業で頑張る白杵という考え方と、逆に、農振があるので開発に支障が出るかもしれないという議論ができました。それでは10分間の休憩を取りたいと思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・今考えられるメリットとデメリットが挙げられました。特にデメリットについて、液状化、土砂災害、校舎の耐震、農振、アクセス道路が考えられます。
この他にも考えられるものはありますか。

《メンバーの発言》

- ・街が寂れるという問題もあります。
- ・野津に近くなる点はメリットと考えられる。
- ・一番は後世に負担を残さないようにできるだけ質素な庁舎としたい。
- ・臼杵市街地と野津の中間点がメリットと考えます。
- ・デメリットは特にありません。
- ・アクセス道路が問題。
- ・石仏と庁舎敷地をつなぐ道路があったほうがよい。石仏の観光客が減っているのです。

《ファシリテーターの発言》

- ・石仏から市内中心部への観光客は少ないと聞きます。石仏は年間10万人程度ですが、市内中心部は5万人程度というデータもあります。

《メンバーの発言》

- ・自転車(レンタサイクル)で市街地から石仏に行く観光客は多いです。

《ファシリテーターの発言》

- ・平安時代に石仏が出来てまわりが栄えてたなら、もう一度そのような方向を示すというのはよいアイデアだと思います。

《メンバーの発言》

- ・道が整備されて、市役所から石仏へのルートが見えれば観光につながる。

《ファシリテーターの発言》

- ・先ほど高速道路のインターに近いと発言があったので、それもメリットに追加しましょう。

《メンバーの発言》

- ・メリットは敷地が広い。デメリットはアクセス道路の問題。
- ・メリットは古い建物を使っているのが臼杵らしさと言えるのではないかと。
一番のデメリットは移転すると町が寂れる点だと思うが、市役所があっても街が元気になるとは限らない。市役所があっても寂れる問題は解決しないと思うので、中心部活性化は改めて向き合って考えて、市役所にお金をかけずにまちづくりに回したらどうか。
- ・今までは合併前の臼杵市を中心に考えていたので、これからは野津を含めた全体で中心を考えて方がよい。野津から現市役所に来るにはかなり時間がかかるので、お互い負担を分け合って、高速道路のインターに近いこの敷地がいいのでは。
デメリットは町が寂れるというのが一番論点になると思うが、市役所が現在の場所にできてずいぶん経つが、今の商店街をみると栄えているとは思えない。市役所が移転すると寂れるとい

うのはどうか。

- ・デメリットは中心部からのアクセス。先日の水害で冠水した場所が多かったのも。

《ファシリテーターの発言》

- ・中心市街地が寂れるという議論について、具体的にどうなるかを考えたいと思います。市役所が中心部にあることで、今どんな恩恵があるのかということを見ると、デメリットについて答えが出るのではないのでしょうか。

《メンバーの発言》

- ・私は買い物は三重町に行きます。
- ・市役所に歩いて行けないという意見があるが、少し遠くなれば、ほとんどの人はタクシーを使っている。
- ・市役所に近い人は、市役所が離れていくことに抵抗感が強いのではないか。
- ・市役所に近い商店街も栄えているとはいえない。

《ファシリテーターの発言》

- ・市役所の人はどこで買い物しているか知りたいですね。

《メンバーの発言》

- ・市役所の人为中心部でお金を落としてなければ、現在の位置に市役所がなくてよいのではないかと。

《ファシリテーターの発言》

- ・一番市役所に近いはずの商店街が栄えていないという意見がメンバーから出ましたが、つまりは、市役所があることでにぎわいにつながっているわけではないと思うという意見ですね。デメリットに対し、私たちはこのように考えているという捉えかたで、次回議論を深めたいと思います。一番の課題の市役所が移転すると寂れるという問題については、市役所があることで、賑わいが作れているかということを考えながら、話し合いたいと思います。

《メンバーの発言》

- ・商工業の中心としての市街地は残しながら、行政部門は移すというように、別々に考えてもよいのではないかと。

《ファシリテーターの発言》

- ・中心部のプラザに置かれている市の窓口を置いて観光行政を担っているが、そこに市民サービスが出来る機能を付与するなど、町なかの寂れるという課題への解決策を次回考えていきたい。

《メンバーの発言》

- ・今ある6つの市の連絡事務所に市役所の機能を追加すれば利便性が上がるのではないか。
- ・先日の水害時に市街地と消防のルートが使えなくなったという問題を考えないと行けないのでは。双方行き来できないエリアが発生するので、インフラの問題も根本的に解決しなければならない。

《ファシリテーターの発言》

- ・最後にまとめの発表があるので、1分でまとめるために今日の議論を振り返りましょう。
- ・メリットとして、臼杵と野津の間となる点。
- ・高台にあり、災害時のリスクが少ない。
- ・改修すれば、費用が抑えられると思われる。
- ・改修し、質素な建物とすることで臼杵らしさが伝えられる。
- ・自分が施主だと考えた時、今あるものを再利用することが臼杵らしいと言えるのではないか。
- ・既存校舎が大きいので、市役所以外に総合庁舎や司法書士事務所などに入居してもらい、総合的に利用したらよい。
- ・高速道路のインターからのアクセスがよい。
- ・デメリットについては、液状化、がけ崩れ、耐震化、農振地域の制限、中心市街地が寂れる、アクセス道路の問題があげられる。
- ・次回は市役所が移転すると、中心市街地が寂れるという問題について深めていきたいと思えます。

以上

みんなで創ろう！“新”臼杵庁舎を考える市民会議 グループワーク まとめ

候補地	現在地
ファシリテーター	末成 祐二
班の人数	9名

《ファシリテーターの発言》

- ・もう一度自己紹介からしていただきまして、それから会議を始めたいと思います。

《メンバーの発言》

- ・現在地が良いということで、このグループで参加させていただきます。よろしくお願いします。
- ・今日は歩いて来ました。この辺りはいつもの散歩コースです。どうしてもこの場所が必要ではないかと思います。歴史から見ても、400年～500年、大した津波が来ていません。津波では殆ど人も亡くなっていない。かつて14人ほど女性が裾を絡めて溺れ死んだようです。船で逃げているときに亡くなったということで、臼杵では津波で殆ど亡くなっていません。
- ・ここが良い理由は、40～50年の歴史があります。また、行政の核はここで、それによって市民の営みがなされています。そういう関係から、津波がくる等の理由で移転するよりも、現在地で出来る限り計画をしていただきたいと思います。
- ・嫁いできてから何十年か、臼杵に住んでいますが、現在地が最も慣れ親しんでいますので、この土地が良いと思います。
- ・現在地が良い理由は、交通の便が今のところ良く、お年寄りにとって便利が良いことです。また、駅も近く、現在の市役所ができてから、官公庁や病院等が周囲にできていることから、現在地が良いと思います。津波がいつ来るか分からない、また人も少なくなるのに、大きな物を建てたり、改修したりするのは、もう少し様子を見てからでも良いのではないのでしょうか。
- ・ここが良い理由は、現在の庁舎を使用できるということも考えられますし、新しく作り直しても、コンパクトにできるし、土地を購入しなくてよい、という考えから、現在地が良いと思います。
- ・ここが良い理由は土地が非常に広いということと、津波などは建物を高くしたり、立体駐車場を造るなど、工夫さえすればあまり費用も掛からずに、将来的なことが出来るのではないかと思います。
- ・現在地が良い理由は、どう考えてもここ以外ないのではないかと思います。

市職員及び設計事務所の紹介

《ファシリテーターの発言》

- ・今、自己紹介していただいたのが、市職員と設計事務所のメンバーです。疑問点等があれば出

して頂いて、結構です。最終的には、①選定理由、何故この場所を選んだのか。また、メリットについては、自己紹介の中で皆様から簡単に触れていただきましたけど、もう少し皆様に議論して積極的に打ち出していきたいと思います。また課題もあります。津波と液状化の課題がすでに出てきていますが、それに対してどのような解決方法があるか、具体的に整理をして、他の皆様方に説明が出来るようにしていきたいと思います。

次に、②イメージ図の作成です。これは設計事務所が専門ですので、作成してもらいます。また③スケジュールも最終的には示す必要がありますので、市職員と設計事務所の方で整理をしていただき、メンバーはそれに対して、意見をを寄せればと思います。

④コストについても市職員と設計事務所に提示していただいて、まとめるのが3月までの最終目標となります。まず、課題の確認を改めてしたいと思います。今日新たに提示された資料で、液状化の分布図が来ています。当然現在地は液状化するエリアに入っています。拡大された資料もあり、先ほど拝見しました。臼杵公園は高台ですので、可能性は低いようですが、現在地は最も可能性が高いエリアになる、というのが1点です。また、今までの議論の中でもありましたが、津波の浸水深が5.75mと想定されています。以上の2点がこの土地についての一番のリスクです。これをどの様に解消するのが良いか、解決策を検討する必要があります。今回提示された資料で建物の構造についての資料がありましたが、それについてどのようにお考えですか。

《メンバーの発言》

- ・液状化は当然あると思いますが、震度がどの程度で起こるのか、想定している程度が我々には分かりません。どの基準で液状化が起こるのか、想像が付きません。

《ファシリテーターの発言》

- ・これは、南海トラフ地震で津波想定がされている地震が起きた時に液状化も合わせて起こるということで良いですか？それによると、震度は5強ですね。そういう考えで良いですか。

《アドバイザーの発言》

- ・液状化というのは、地盤の中の砂の層が揺らされることで、支持力を失い、水が噴き出してくる現象をいいます。特定の砂の層に問題があります。密に詰まった砂の層ですと問題はないのですが、緩い砂の層が揺れると支持力を失い沈んでしまいます。結果、水と一緒に砂が浮き上がってきてしまいます。これは土質が持っている性質になりますので、土質が液状化し易いかし難いかを判定した資料となりますので、どの程度の震度で液状化が生じるかについては、想定できません。液状化が起こりやすい地盤であるという理解をお願いします。震度3なら生じないが震度7なら生じるというものではないことをご理解くださいますよう、お願いいたします。

《メンバーの発言》

- ・砂地だったら起こる可能性があるということですね。砂浜などは50年くらい経っていますけど、砂地ならそういうところまで起こる可能性はあるのですか。年数がどのくらい経ったら起こらないのかというのはありますか。

《アドバイザーの発言》

- ・粘土の場合は時間と共に沈んでいって固くなりますが、砂は基本的に出来た時からある程度の密度で経過しますので、何年時間がたったから起き難くなるというのはありませんので、資料の赤い部分は液状化し易い砂の層があるということです。それを固めるにはどうするかというと、薬を入れて固める薬液注入等、解決方法はあります。

《設計事務所の発言》

- ・P L値という液状化の指数があるのですが、現在地のP L値は15以下という、評価ですので、かなり液状化の危険度が高い地域となります。先ほどの土木事務所の方の発言にもありましたように、かなり緩い砂の層の上に建っていることとなります。震度5強程度の地震で起きる可能性があるということです。震度6以上があると必ず起こるという前提に立って計画する必要があると思われます。

《ファシリテーターの発言》

- ・課題の1つとして、液状化にどう対応するか、解決策を示す必要はありますね。

《メンバーの発言》

- ・今資料にありますけど、この範囲全体が液状化するという計算ですか。
- ・この場所に限らず、臼杵の平野部の大半で液状化の危険性があるということで、現在地だけが液状化のリスクがあるということではないですね。
- ・液状化の危険性がある場所に庁舎を造ってはいけない理由がよく分からないのですが。
- ・液状化によって建物が壊れるというのは、殆どないと思いますが、周辺の道路や駐車場等の地盤が沈んだり、電柱が倒壊する等の問題が生じる可能性があるということです。
- ・その時は、もう津波で水浸しになっているのでは。津波の被害があったら、液状化が起ころうとも関係ないのでは。
- ・津波が来る場合は、おっしゃる通りですが、津波が来ない地震もあります。先日の東日本大震災では、東京湾周辺は津波が発生しなかったけれど、液状化が起こった事例もありますね。
- ・最近スーパー台風や集中豪雨、阿蘇山の噴火等の話がどんどん出てきているので、何故津波だけをそんなに考えなきゃいけないのが疑問です。もう少し確率の高い災害等については何も考えていないのでは。それらを考慮せず、数百年、数千年に一度というような地震だけの話をしているのは、少し違うのではないかと思います。
- ・はっきり言って、歴史から見て前例はないんです。ないものについて、怖がって大きな被害を

想定しているだけの事だと思います。白杵の歴史から見ても液状化になったことなどないですよ。

《設計事務所の発言》

- ・液状化の問題点ですが、先日の熊本の地震で液状化が発生しました。道路がかなり凸凹で、復旧活動等を行う際に道路が開通していなかったり、マンホールが飛び出している等の問題が起こっていますので、液状化した場合は、建物は被害がありませんが、周辺道路が寸断される可能性がありますので、津波が引いた後に緊急活動をするには問題があると思われます。

《メンバーの発言》

- ・結局、庁舎をどこに建設すれば良いのか、というのがこの会議のテーマですよ。あまり液状化を考慮しすぎても良くないのでは。仮に庁舎が白杵商業高校跡地に移転して、液状化が起こらなくても、それは庁舎に被害がないだけであって、復旧活動というのは大半の市民が住んでいるところをどうするかの問題で、庁舎とは無関係という風に考えた方が良いのではないかと。
- ・私も最近感じているのは、市民会議の主旨が災害ばかりになっていて、本来の主旨からどんどんずれてきているのではないかと思います。あまりに災害にばかり注目が行き過ぎているのではないかと思います。一番大事なのは日頃の生活だと思います。50年の間にマスタープランが現在地で計画されているのに、移転することによりまた一からマスタープランを作り直すとすると、まちづくりの形成が変わってきます。人口減少の中で、はたしてそれが可能なのか疑問が残ります。また、これまで作り上げたものをレベルアップさせるためにも、現在地で作り上げていく方が、若い世代にとっても伝えやすいと思います。少し災害に捉われすぎているのではないのでしょうか。
- ・まったくその通りだと思います。杞憂というか、皆が怖いものに捉われ過ぎているのではないのでしょうか。
- ・南海トラフの想定が、千年に一度来るかどうかです。東日本大震災があったから、メディアを始め言い出したわけで、それまで誰も言うてはおらず、そればかりに捉われると、建物の耐用年数が50年と考えると、その50年の間に地震が起こるかどうかも疑問です。
- ・何かの資料に、南海地震の発生率が30年以内に60%、50年以内に90%と出ていますが、これもただの数字なだけだと思います。
- ・ただ、来る来ないの議論もありますが、来ることを前提として議論を進める方が良いのではないですか。来たときに耐えられる建物である庁舎であること、また液状化についてどのように対処すべきかというのが、問題ですからそこに絞らないと、歴史上来ていない等色々な意見がありますが、我々は専門家ではないので、来るのを想定して耐えられる建物であることとして、メリットに絞った議論をした方が良いのでは。

《ファシリテーターの発言》

- ・他の班に対するアピールと、他の班が疑問に思うであろう課題、リスクに対してどうするかは、

答えざるを得ないと思います。来ることは前提として考えないと、積極的な案にはならないと考えます。発生確率云々という議論はありますが、国や県の知見として地震想定がなされている以上、それについての対応策は、前提として考える必要があると思います。建物は作り方で、津波が来ても庁舎として必要最低限な機能を満足させる建て方がありますよということで、事前資料に記載されています。基本的には津波よりも高い範囲に必要な機能を持ち上げておくということです。資料として想定されている津波高さが 10m です。白杵の想定高さよりもかなり大きいので、高層の 5 階建ての建物になっていますけれど、白杵市庁舎の新築の想定として、何階建てにして、どのフロアにどの機能を持つていくかということは、設計事務所の方に整理をしていただくことになると思います。その上で、今の庁舎はマウンドアップして建てられていますが、建て替えるとしたときには同様に嵩上した方が良いという話になるのか、または 1、2 階は津波の被害を受けることを想定して建築計画になるのでしょうか。

《設計事務所の発言》

- どこまで配慮して津波対策ビルを計画するかということですが、公共建築として津波に対して完璧に建てた建物というのは日本中にまだないと思われ。先日の台風で津久見市の市庁舎が浸水しましたが、すでに 1 階部分は普通に使われています。重要な機能を上部に持つていく事や電気・エネルギー・給水部門を上を持つていく事なども可能です。どこまで配慮した市庁舎にするか、現在地チームの計画案においては、そのような配慮も可能である旨を提案してはいかがでしょうか。

《ファシリテーターの発言》

- 津波高さに応じて、低層階にどのような機能を持つてくるか、また緊急時には上層階を使用するということですね。

《設計事務所の発言》

- 液状化対策も前回説明させていただきましたように十分対策は可能です。ただ、耐震性につきましては、どの敷地に建設しても同じ条件になります。震度 7 程度の最大規模の地震が来ても、庁舎機能が維持できるような建て方をするのはどの敷地でも同様です。

《ファシリテーターの発言》

- 建物については、浸水を前提とした形で計画するということが重要ですね。これについては、次回に設計事務所から提案していただくという形になると思います。
もう一点、一度に全部を建て替えるのではなく、部分的に建て替えるというのが、先程の自己紹介の時にあったと思いますが、それについて意見集約をしたいと思います。

《メンバーの発言》

- まず、これまでの様な大きい庁舎というのは必要なくなると思います。コンパクトな形で災害

に対応できる建物が出来れば良いと思います。逆に分庁舎というような形、野津庁舎があり、町なかに観光課があるというような分庁舎形式にした方が災害にも対応できるのではないかと考えます。

《ファシリテーターの発言》

- ・ 現庁舎は西棟、東棟と別れています。前回、建築士会の方がプレゼンした中で、どちらかの機能を臼杵公園に持って行ってはということをご提案されていましたが、建物の耐用年数等で西棟、東棟で前後はあるのでしょうか。

《市職員の発言》

- ・ 西棟、東棟とも昭和 49 年度竣工となります。昨年度、両棟とも耐震補強が完了しております。ただ、耐震補強の強度につきましては、建て替え等も考慮いたしまして、最小限の耐震補強のみとなっています。建物内部にいる人の命を守る、ということをご想定して行っていますので、倒壊しないレベルの耐震補強です。ですから、部分的に建て替えということになりますと、災害を受けた時、既存の庁舎は使用できないということをご前提に検討していただければと思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・ 既存を利用しようとするならば新たな補強が必要ということですね。そのような前提で、全てを新たに建て替えるのか、段階的に建て替えた方が良いのかということをご意見をお願いします。

《メンバーの発言》

- ・ 段階的が良いと思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・ 例えば西棟はしばらく、今後 25 年程度は使用するとして、東棟の機能だけ今回建て替える。そして、先程の意見としては、もしかしたら、25 年後には今回建て替えた東棟の機能だけで十分であるということも考えられますね。

《メンバーの発言》

- ・ 災害が発生して、臼杵市役所が全滅してしまった場合は、災害の対策本部が消防署に、また市役所の機能が市浜コミュニティセンターに移転するということをご聞いていたので、災害対応については賄えると言っていました。

《ファシリテーターの発言》

- ・ そうですね。現庁舎が使えない場合は消防署と市浜コミュニティセンターに機能を持っていく

という形になりますね。

《メンバーの発言》

- ・それは1、2ヶ月の間の話だと思います。今の機能は必要ですから、いずれ庁舎が回復すれば、元に戻る必要があります。一時的な話で、当面の対応は可能ですよ、という話だと思います。
 - ・高層階が現実的だとは思いますが、そうなる議会棟のような物はその中に組み込むことが難しいと思いますので、これは附属棟の様な形になると思いますね。具体的なことはこれからの話になると思いますが、現在地は敷地が広いというのが最大のメリットだと思います。将来、再度建て替えが必要になった時でも同敷地に建設が可能というのが、現在地の最大のメリットだと思います。融通性のある敷地ということアピールしたいと思います。
- 災害の方に重きを置かれる方は、商業高校跡地を上げていますが、このグループの方は、町中に市役所があるべきだという考えの方だと思います。
- 先ほどの話のように、人口は減っていきますので、それほど大きな面積は必要ないのではないかと。とりあえず一部の庁舎を残しておいて、ある程度の規模で新築し、将来的に古い建物がなくなれば解体しても良いのではないのでしょうか。様々な利用の仕方が考えられると思います。
- ・建物を分けて建設するのは、費用面では良いですけど、ほかのグループからは、地震対策等について、既存建物が被害を受けるのではという指摘が上がると思います。私は建て替えるのであれば、一度に建て替えた方が良いと思います。残しておく、25年以内に地震が来た場合どうするのという指摘があると思います。補強すれば耐震については対応できるでしょうが、液状化については対応出来ませんよね。一度に建て替えれば液状化への対策もとれると思います。
 - ・液状化と耐震を混同されているかもしれませんが、液状化というのは建物本体ではなく、周辺に対して起こる問題ですよ。
 - ・ですが、建てるときに改良できるのでしょ。
 - ・建物は杭さえ打てば大丈夫ですよ。

《設計事務所の発言》

- ・現庁舎については、液状化に耐えられるかどうかは、疑問な点がございます。

《メンバーの発言》

- ・古い建物を恒久的に残すというのではなく、使えるものは一部残しても良いのではないかと。意見は、柔軟性であって、建て替えるなら一度に全部建て替えるという意見もわかりますが、コストの面からも、使えるものは残していくという考えも一つの案としてあっても良いのではないのでしょうか。

《ファシリテーターの発言》

- ・コストの話をしてしまうと、現在地では国の起債制度は使えないということがありますので、他の

候補地と比較しますと、財源問題がウィークポイントになると思われます。そういうことを考慮しますと、一挙に建て替えるよりは、将来必要なくなる可能性がある部分があるのであれば残しておいて、新庁舎のコストを下げましょう、というのは説得力があるのではと思われます。必ずしも一案だけに絞って提案する必要はなくて、場合によっては現在地だが、一棟の案と、現庁舎を残しつつコンパクトな庁舎を建設する案のグループに分かれても構わないと思います。

《設計事務所の発言》

- ・庁舎の機能の中で、議会部分と行政の市民サービスの部分の、大きく2つに分けられますので、議会は古いものを使って頂きつつ、市民サービスの部分を新築する、という考え方もあると思います。

現在で行きますと、議会部分は西館になりますね。市会議員の数も人口減少に伴って少なくなっていくので、今までの様な大きな議会部分が必要なのかという議論も出てくると思われます。

《メンバーの発言》

- ・それは説得力があると思います。議場というのは新しい部分に組み込むのは難しいですね。スパン等の関係から。ですから、それを残して、行政部分を新築するというのはコストの面からも他のグループに対する説得力が出てくると思います。

《設計事務所の発言》

- ・庁舎のビルタイプとして、議場と事務系統を別々に建てるというのが、大分県庁等を見ていただいてもそうですが、今までの流れです。これが最近になりますと、佐伯の庁舎もそうですが、議場を最上階に持ってきて大空間を造るというやり方になってきています。ですので、臼杵市においても一度に建て替えて、尚且つ空地进行を広く残そうとするなら、議場を上に乗せるという考え方もあります。

《ファシリテーターの発言》

- ・議場を上に乗せて一度に建て替える案、または、議場部分を残して段階的に建て替える案もありますよ、ということですね。これはもう少し議論が進んだ段階で方針を決めていくか、場合によっては、設計事務所に2案考えていただくことになるかもしれません。建て替えるので、現在のどこに配置するか、というのも重要になると思います。

《メンバーの発言》

- ・津波が来たら1、2階はスペースとしてやられてしまうという中で、1階をピロティとしてしまうのでは勿体ないと思いますので、津波被害を受けても支障がないという使い方があると思います。市民課関係については、市民レベルで言うと1階にあるのが便利が良いが、重要なデータ等については、上階に上げておいて、事務機器等は流されてもしょうがないと考えるのが、

現実的な方法ではないかと考えます。ですから、ことさら嵩上する等よりも便利さを考えた方が良いのではないかと思います。あるいは、ホールやコンビニ機能が必要であれば、そういったものは1階に配置すれば良いのではないかと。

いずれにしてもある程度高層にしてしまう方が、説得力があるのではと思います。こういう便利さがあるんだというようなプランでプレゼンをした方が、良いのではないかと。1、2階には日頃市民が使えるような施設を設けて、津波被害を受けても庁舎本来の機能は維持できるということをアピールした方が良いのでは。

《ファシリテーターの発言》

- ・建物が壊れるのではなく、復旧すれば使えるということですね。先ほど申し上げましたように、最大限の問題というのは液状化で周辺道路が使用できなくなるということですね。

《メンバーの発言》

- ・それについては、最終的に予算があれば、地盤改良を行えば良いのではないかと。周辺道路については、庁舎がどこにあるか一緒ではないですか。
- ・役所機能がなくなるのはいけないが、町全体がやられているのに、庁舎だけが生き残ってもどうしようもないのでは。液状化現象についても、庁舎周辺のみを改良するのではなく、町全体を改良しなければ、水道もやられるので、どうしようもないのでは。
- ・恐らく、現在地に建てるメリットはとても強いと思うのですが、ウィークポイントが弱すぎると思われるので、それらを洗い出して対応策を講じることが出来れば、他のグループを説得することも出来ると思います。それを踏まえた上で議論すれば建物の計画もし易いと思うので、ウィークポイントについて考えた方が良いのでは。
- ・コストについて、土地取得等、必要なコストを全て積み上げて比較をする必要がありますね。その上でこのグループでも液状化対策のコスト、段階的建設案、全施設改築案等のコストを出して、比較する必要がありますね。
- ・現在地の最大の売りは利便性だと思います。駅も近く、バス停もすぐ近くにある、各庁舎にも近い。その上で市役所だけが移転した場合、利便性はどうなるのか。
- ・市民が一番言うのは、市役所だけが逃げるのか ということだと思います。
- ・お年寄りの話では、現在地が一番良い。市役所のついでに町中で買い物もでき、バスに乗って帰ることができる。
- ・利便性が一番の売りですね。
- ・50年前に市役所を中心にインフラ整備がなされている訳で、これを捨てて庁舎だけが逃げるのはダメですよ、ということを持っていく必要があると思います。再度現在地に建て替えることによって、活性化のためのまちづくり的な要素も加える必要があると思う。

《ファシリテーターの発言》

- ・実際、現在地に建つと、周辺住民の津波避難ビルにもなりますね。臼杵公園まで距離もありま

すし、この周辺の避難場所としての役割も果たせますね。

《メンバーの発言》

- ・ もう一つ、先日の津久見の水害の時、市の公用車が使えなくなってしまい、復旧時の作業が出来なくなってしまったということがありましたので、駐車場についてもあらかじめ立体駐車場を作り、平時に利用もできるし、災害時には3階以上に公用車を避難させることができる、というように、公用車の避難についても考えなくてはいけないのではと思います。
- ・ それについて、水害の恐れがある場合、消防署は公用車を公園に上げるそうです。津久見市は60台、臼杵市は90台。公用車を高台に移動させるだけで済むんです。
- ・ 地震時は50分以内に移動させないと津波の恐れがありますし、道路の状態も定かではありません。その状態で高台に移動させるよりは、立体駐車場を作り、平時も利用できるようにした方が良くありませんか。
- ・ 立体駐車場を作るかどうかは、今後議論していきましょう。もう一つ、他の班にアピール出来ることとして、災害時に仮設住宅が必要になると思いますが、どこにスペースを確保するかで、自治体は苦勞していると聞きます。私は、今の商業高校跡地を、将来的なスペースとして残して置くのも一つのメリットとしたいなど、考えています。日頃はグラウンドとして使用すれば良いのではないのでしょうか。

《ファシリテーターの発言》

- ・ 最大のメリットは町中に近く、利便性が良いということですね。それで、庁舎が被災するときは同様に町中も被災するので、町中は見捨てずにここに留まるということですね。それと、空洞化してしまう懸念が生じるということですね。

《メンバーの発言》

- ・ この50年という時間が無駄になりますね。現庁舎を中心にマスタープランを作ったと思います。それを捨てるということはいかがなことかと思えます。
- ・ 人口も減少するので、ゼロから作り直すのは本当に難しいと思います。
- ・ 商業高校跡地にした場合は、新たにまちづくりをしたら良いという意見がありましたが、それは難しいと思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・ 加えますと、稲葉氏が1600年に入ってきて、それから、現在地周辺のまちづくりを始めた訳でありまして、400年以上の歴史がありますね。

《メンバーの発言》

- ・ それを受け継いでいかないといけませんね。

《設計事務所の発言》

- ・今おっしゃった、稲葉氏が来る前に大友宗麟が城を築いてから歴史が始まっていますよね。色々な城下町を見ても 420 年間、まちの中心部が動いていないのは、日本でも稀なんです。臼杵は歴史が保存された良い街です。私も 55 年前まで臼杵に住んでいました。臼杵の魅力というのは、臼杵湾の潮干狩りですとか、その様な営みがあったと思います。ですので、現在地に作ることで、ただの事務棟と議会棟だけの庁舎ではなく、まちづくりの中で活かしていけるような計画ができるのではないかと思います。

《メンバーの発言》

- ・先ほど意見がありましたけど、町中にあると非常に便利が良い。ついでで付随する施設があると良いですね。コンビニ等テナントで入って貰えると良いですね。
- ・現在地に建てることにより、皆さんが理想としている庁舎が建てられるかどうか心配です。他のグループは移転ですので、ゼロから建てられますが、現在地は現市庁舎を使用しながらの建設になりますので、その様な理想的な庁舎が建てられるか設計事務所の意見を頂きたい。でないと、デメリットになってしまいます。

《ファシリテーターの発言》

- ・現地建て替えの場合、現在の駐車場への建設となりますが、現庁舎を利用しながら新しい庁舎の建設が可能でしょうか。駐車場が足りなくなると思いますが。現在地で建て替えるというのは、敷地が広いというのがメリットですが、工事中についてもすべてをこの中に入れ込まないと、メリットがなくなってしまうですね。

《メンバーの発言》

- ・一度に建て替えるとなると、現庁舎の機能をどこかに一時的に移転する必要があると思います。
- ・その場合は、分庁方式という選択をとる必要があるかもしれませんね。
- ・この全体の敷地の広さからしたら、可能だと思いますよ。駐車場と建物の一部は壊す必要があるかもしれませんが、それはこれから具体的に詰めていけば良いと思いますが、私の直感としては、この程度の広さがあれば大丈夫ではないかと思います。
- ・それが可能かどうかは議論しておかないと、いけないと思います。
- ・逆に、可能なような配置にしないといけないですね。
- ・市民に影響するようではいけないですね。

《ファシリテーターの発言》

- ・今より高層になれば、当然建築面積は少なくなりますからね。そこら辺の詳細については、設計事務所にスタディをしていただく必要がありますね。

《設計事務所の発言》

- ・先日、弊社の中津の物件で、先に立体駐車場を整備して、そこである程度空地を確保して建物を建てる、というやり方になろうかと思います。駐車1台当たり100万円程度のコストがかかると思います。

《メンバーの発言》

- ・その後の利用方法ですよね。そのまま駐車場として使うもよし、避難スペースとしての活用も出来るということですよね。

《ファシリテーターの発言》

- ・現在地に建て替える場合、現庁舎の機能を維持しながら建設が出来るかどうかという意見がありました。当然駐車場のスペースに建てるので、駐車場が一部利用できないという問題がありますので、それを含めた案を設計事務所に次回までに作って来て頂きたいと思います。その時に、全部建て替えると難しいけれど、一部でこれくらいの面積だと可能だ、という話も出てくると思います。先ほどご提案のあった立体駐車場もその際に今ある駐車場機能を失わないようにするとなると、作らなくてはけませんよ、という話になると思います。当然その立体駐車場は新庁舎になっても使い続けられるものということになります。もう一つ、地震や津波が来て、人命は恐らく損なわれない、庁舎の持っているデータ等も津波被害が及ばない所へ持っていけば失われずに、復旧後は庁舎機能が回復できることは想定できますが、実際被災して庁舎を復旧するまでの間、一月から一月半程度かかると思いますが、一定期間、現在地で執務を行うことはかなり困難になると思われま。どれ位の想定になるかは、過去の震災の程度をみて想定しなくてはいけないでしょうが、その時にどういう機能、バックアップを持たせるかということですね。先ほど市浜コミュニティセンターで市役所機能を行うという話がありましたが、野津庁舎がありますが、そちらに役割分担をして、庁舎機能を分散させるという方法もあると思います。まず、我々現在地グループが他の班に対して、建物が被災はするけど復旧できるということは説明できると思いますが、復旧する間の代替機能をどこかに設けますよ、ということを他の班に説得する具体的なアイデアはございますでしょうか。

《メンバーの発言》

- ・白杵はかつて交通の便が悪い時に支所がかなり出来ています。そのような支所については、現在地の本庁が被災した場合の代替機能としての役割は果たせると思います。
- ・今は支所が5ヶ所程残っています。それらが機能を果たせるのではないのでしょうか。

《ファシリテーターの発言》

- ・その支所で罹災証明等の発行が出来るということですね。

《メンバーの発言》

- ・支所もやられるかもしれませんがね。
- ・野津庁舎は内陸部にあつて、津波とは関係ないですから、そこでも機能は果たせると思いますよ。

《ファシリテーターの発言》

- ・現在想定されているのは、消防署や市浜コミュニティセンターですが、本庁舎が被災してしまった時は、野津庁舎等で代替機能を果たせるということですね。

《メンバーの発言》

- ・ただし、新庁舎については、1、2階がやられても3階以上は残るということですから、比較的復旧は早く出来るんじゃないでしょうか。

《ファシリテーターの発言》

- ・被災することを想定して計画すれば、復旧は早く出来るだろうということですね。
野津庁舎を使うということを積極的に出していきましょう。
町中にあるが故の魅力みたいなものがもっと積極的に打ち出せると、良いと思いますがその辺りは何かご提案がありますか。

《メンバーの発言》

- ・突拍子もない考えかもしれませんが、最上階を展望台みたいにして、眺めを見てもらうというのはどうでしょうか。そして、市民が日常的に使ってくれるとか、デートスポットになればと。
- ・軽い観光地化みたいなものですね。
- ・災害時は、避難場所としての利用もできますね。
- ・現在、市役所はそういった利用のされ方はないですね。
- ・役所の機能としてしか利用していませんね。
- ・東京都庁の展望台みたいになれば良いですね。
- ・市民が入り易く、親しみの湧く役所作りが出来れば面白いと思います。
- ・海が一望できますしね。
- ・非常時は近辺の人の避難場所とも成り得ますね。
- ・人口密度による庁舎の位置といいますか、商業高校跡地でしたら人口密度が薄いじゃないですか。そこへ行くとなると全部が車になると思います。現在地でしたら、人口密度が高いので、歩いてでも自転車でも来れる人が多い。
- ・電車とバスもありますしね。
- ・特に若い方々がこれからの時代を見据えた時に庁舎の複合的機能といいますかね。
- ・付加価値を付けた方が良いということですか。
- ・1、2階にどのような機能を付加価値として付けるか、その辺りを新庁舎の計画に組み込んでい

くと面白いのではないかと思います。コンビニ機能でありますとか、その他の機能で、最悪津波で流れても良いという機能があれば良いですね。

- ・ 現在地の最大の強みは、駐車場が広いということですね。
- ・ それから「ついでに」ということですね。買い物のついでにというような便利さを考えると、商業高校跡地はあまりにも遠すぎると思いますよ。
- ・ 商業高校跡地は車前提でないといけませんよ。
- ・ 現在地でしたら自転車で来れる人も結構多いと思いますしね。
- ・ 市役所に行ってみたいなあ、と思える機能が付いていると「ついでに」であちこちに行けますよ。
- ・ 付加価値機能についても、年齢層が大切だと思います。現在の市役所に来る年齢層は限られていると思います。私を含めて若い世代はなかなか来ないです。そういう若い世代を呼び込むのか、または年齢層が高い人を呼び込む機能を付けるのかによって、人の流れというものは全然違ってくると思います。
- ・ 現在地の用途地域は商業地域になっているんですかね

《市職員の発言》

- ・ 商業地域です。

《メンバーの発言》

- ・ ですよ。商業地域でありながら、楽しげなお店などが無いんですよ。ですから、今回の庁舎の建て替えによって、新しいお店が周辺にでも来てくれるようなビジョンを提示出来たらと思います。
- ・ 白杵の良さというのは、歴史的な街並みだと思っていますので、その景観を崩さないためにも、豊後高田市のような歴史を活かした人集めをしていく方が、白杵市にはあっていると思います。
- ・ 都市計画上というか、現在地周辺には、歴史的な規制をかけてはいませんよね。

《市職員の発言》

- ・ ここは、白杵公園の亀の首から津久見島へかけての眺望の規制はかけていますが、この地域は外れていますので制限はありません。

《メンバーの発言》

- ・ 歴史的な制限をかけるのも良いかとは思いますが、本来のマスタープランからいくと、白杵市はこの地域は考えていないということですね。城下町の地域に集中してかけているということですね。

《市職員の発言》

- ・ 景観重点地区としては、二王座歴史の道を中心とした町なか地区と、石仏周辺の2ヶ所を指定

しています。

《ファシリテーターの発言》

- ・敷地の広さを利用するということ言えば、余裕があるというのでは、考慮しても良いのではないのでしょうか。町中に近いというメリットも活かさせますね。

《メンバーの発言》

- ・直接関係ないので、言及してはいないのですが、交通インフラが乏しい面があると思います。市役所、市民会館、中央公民館、土木事務所、警察署が集中しています。日頃の朝夕のラッシュに、公民館、市民会館での行事が重なると完全に交通が麻痺してしまいます。どこがネックになるかという、中須賀橋に全てが集中してしまいます。本当なら現在地から北部に抜けるルートがあればと思います。これはある意味大きなマスタープランになりますので、それを言い出すとコストが大きくなり過ぎますので、それは当然違うんですが、現在地はマスタープランの中でも市役所は現在地の位置づけなんです、という風に持っていく必要があると思います。その他のインフラは50年の間に整いつつあるので、もっと活かしていくということだと思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・今までの議論を聞いて、私なりに意味が分かってきたのですが、臼杵市の公的施設が全部集まっているんですね。全部がこの町なか集中しているので、それらの関係による利便性ですね。それと商業施設との関係性。そういった、利便性、関係性が果たして他の敷地に移転した場合、維持できるのかということで、当然維持出来ませんよね。そういった各施設との関係性が出来上がっている、町中との位置関係が現在地は非常に優れているということですね。

《メンバーの発言》

- ・まちづくりの蓄積があるということですね。今後の人口減少を考えると、再び一からやり直すのは不可能に近いのではないかと思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・具体的に建て替えるとしたときに、設計事務所から何か提案というものはありますか。配置図をみてこれくらいのスペースだったら何階建てでこの位置が良いよというようなものがあれば提案してください。

《設計事務所の発言》

- ・今までの議論の中で、全体的に建て替える案と、段階別に建て替える案の2案ですね。全面的に建て替える場合は、思い切って高層化して空地を出来るだけ残すということですね。駐車場を確保するというのも可能ですが、市民プラザ的な、皆が集まって活動できるようなスペース

を少し考えています。それは建物と一体化したオープンなスペースでも良いし、屋内に取り込んだ形の、自由に使える空間でも良いかとは思っています。それから、先程提案のありました屋上の展望スペースみたいなものは、他の庁舎にはあまりない機能になりますので、そこに上れば白杵湾が一望できるようなスペースにできればと思います。いずれにしても駐車場をどれだけ確保できるかということですね。今日もですが、市民会館でイベントがあるときは市役所の駐車場が使われていますので、他の公共施設との共有の駐車スペースを確保する必要があると思います。立体駐車場を作っても、メリットはあると考えます。我々が設計いたしました、豊後高田市の市役所の場合は、隣接する県の総合庁舎の一部が空き部屋になっていたんです。その時は建てる規模を縮小させるために、県の建物と繋いで相乗りさせるという計画をいたしました。

《ファシリテーターの発言》

- ・豊後高田市が買い取ったという形ですね。県の総合庁舎の一部を改修して、市の庁舎の機能を一部移転したという形ですね。

《設計事務所の発言》

- ・隣を見ると県の建物（土木事務所）がありますので、私の勝手な想像ですが、まとめて再開発するというのも一つの案かなと。

《メンバーの発言》

- ・もし立体駐車場を作るとしたら期間的にはどれくらいかかりますか。

《設計事務所の発言》

- ・1年を見ていけば出来ると思います。

《メンバーの発言》

- ・先に立体駐車場を作るということですね。そうでないと、スペースの確保ができませんね。

《設計事務所の発言》

- ・もちろん、そういうことになります。現庁舎は100%稼働させながら、新たな庁舎を建てるとするのが一番メリットがあると思われれます。庁舎機能を仮設として一旦外にだしますと、仮設というのは捨て銭になりますので、現状考えられません。それによって、どれだけの制約があるのかというのは、今後検証する必要はあるかと思っています。

《ファシリテーターの発言》

- ・どの程度上がる立体駐車場になりますか。

《設計事務所の発言》

- ・敷地全体で 23,000 m²くらいあり、そのうちの 1/3 程度を建物として使用しており、残りが駐車場ですので、5~600 台程度の駐車スペースになっています。新設する建物の建築面積が 2~3,000 m²になれば、その分の敷地を切り取る必要がありますので、それに対応する駐車スペースを賄う必要があると思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・想定されている新庁舎の延床面積が 7,000 m²と聞いています。

《設計事務所の発言》

- ・この 7,000 m²の中身についても再度検証する必要があると思います。次は敷地の比較論になりますので、庁舎の中身については共通の設計条件が必要となります。それが現在、一応 7,000 m²ということですね。その 7,000 m²の中にどれだけ付加価値的なものを組み込めるかということになります。最近の傾向としては、そういったものを盛り込んでいますので。豊後高田市庁舎も市民ホールというものを組み込んでいます。多目的に利用できるスペースで、芸術の発表であったり、選挙時は開票所としても利用できますし、災害時の避難スペースとしても利用できるスペースが必要になると思われます。

《メンバーの発言》

- ・豊後高田市の庁舎は水害対策はどのようなものを施しているのですか。

《設計事務所の発言》

- ・豊後高田市庁舎はハザードマップでは安全な地域でしたが、2 階部分に先ほどの避難スペースを設けて、外階段で直接上がれるようにしてあります。

《ファシリテーターの発言》

- ・南海トラフの津波は、豊後高田市は臼杵市より安全なんですよ。

《メンバーの発言》

- ・形状が直方体なイメージがあるのですが、円筒形みたいなものも良いのではないかと思います。一部、避難場所ですとか、皆が集まる場所とかですね。コストはもちろんかかりますが、円筒形の方が水の被害を受けにくいような事を聞いたことがあるのですが。全体ではなくてコンパクトな円筒形を作るといえるのはどうですか。

《ファシリテーターの発言》

- ・庁舎はこのような会議スペースがかなり必要ですので、それを避難スペースで提供するというような形になると思います。避難時用の大空間でも、平時にも活用しなければいけないので、その辺りは設計のアイデアで整理をしていただければと思います。

《設計事務所の発言》

- ・こういうものを作りたいというのを出して頂ければ、それを計画案にしていきたいと思います。

《メンバーの発言》

- ・1階部分は単に駐車場が広々とあるというのではなくて、若干の楽しげなスペースというのが欲しいですね。ぼんやりしてても過ごせるようなスペースがあればと思います。
- ・いま0歳～18歳までの様々な相談ができる「ちあぽーと」（子育て総合支援センター）が来ています。若い人を集めるために、1階の中に集めることが出来れば、より充実した施設が出来るのではないかと考えます。
- ・若い人用、高齢者用と色々なスペースがあれば便利が良くなるのではないかと思います。
- ・各年代が使えるような市役所を作っていくと、面白いのかなと思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・町なかに近いからこそこの施設ということですね。臼杵商業高校跡地に作っても、わざわざ出かけるかと考えると、現在地のメリットとして積極的に打ち出しましょう。

《メンバーの発言》

- ・高校も近いので、来やすいかと思います。高校生が勉強しに来るとかでも良いと思います。私も高校生の時に勉強しようとする、図書館等になりますが、人が一杯になっていますので、勉強場所に困ることがあるので、その様なスペースが広くあれば助かると思います。
- ・スマートホンの充電も必要ですしね。
- ・色々な人が集まるというのは良い売りになると思いますよ。
- ・その辺りをプランに盛り込んで楽しげな物を提案して下さい。
- ・今ある公民館とは違う形のものである必要はありますね。
- ・公民館と若干ダブる部分はあっても良いと思いますけどね。
- ・今の駐車スペースでは、公民館で催し物があると、すぐに一杯になってしまいますので、共通で駐車場を使わないとしょうがないですね。
- ・相当大きな立体駐車場を作らないと、需要を賄いきれないのではと思いますね。
- ・立体駐車場も楽しげな物が良いですね。
- ・大きな物は必要だと思います。市役所の職員や来庁者、災害時の対応まで考慮すると3階以上に駐車できたり、屋上にも避難できるようなものが必要ですね。
- ・敷地が広いので色々考えられると思いますね。

《ファシリテーターの発言》

- ・ただ、建て替えのローテーションを考えながらという制約はありますけどね。

《メンバーの発言》

- ・コストはどの位までは大丈夫というのがあるのですか。

《ファシリテーターの発言》

- ・それは最終的には市役所の方が考えることですが、先程も申しましたように、有利な起債が使えないので、市が単独で負担するということになりますので、実質的には市民の皆様の税金が直接負担ということになります。

《メンバーの発言》

- ・資料に、浸水予想地域では原則使えないということが書いていましたが、あくまで原則であって、対策を講じればまた別ということはあるのですか。

《ファシリテーターの発言》

- ・そういう議論になると思ひまして、事前に確認したのですが、この土地で建て替える場合には使えないということでした。使えないという前提で話をしてくださいとのことでした。

《メンバーの発言》

- ・それが現在地の一番のデメリットですね。
- ・その差というのは具体的にどれくらい違うんですかね。

《ファシリテーターの発言》

- ・10億以上ですね。

《メンバーの発言》

- ・けれど、今までのインフラがそのまま活用できるので、10億では済まないとおもいますよ。

《ファシリテーターの発言》

- ・町なか全体の投資額で考えると、現在地案でいくとそんなに大きくなるということですね。
白杵商業高校跡地等へ移転させた場合、公民館や市民会館の機能を移転させる、町を新たに作ると思えば、トータルでは安くなるのでは、ということですね。
防災対策事業債が全く使えないので、何らかの起債が使えないかなとは思いますが。

《メンバーの発言》

- ・けれど、現在地案のメンバーは、そのことは覚悟の上、ということではないですか。

《ファシリテーターの発言》

- ・恐らく、個々人が負担する費用、新しく移転した場合の交通費や様々なものを想定すると、実

質負担ですね。市民の実質負担が何かということですね。建設費だけではないですよ。時間の負担やガソリン代等々あると思います。それは現在地の周辺人口が多いので、有利であるということですね。

《メンバーの発言》

- ・コスト的には、部分的な建て替えをする必要があると思います。一度に全てを建て替える案ですと、コストが高くなりますからね。

《ファシリテーターの発言》

- ・それはある意味では、現在地で建て替えるメリットかもしれませんね。一部の機能を使いながら、新しい機能を付加できるということですよ。将来、例えば25年先に本当に必要な機能が足りなければ、その分を増築すれば良いということですよ。

《メンバーの発言》

- ・時代によって、どんどん多様化しているので、変化が本当に早いですからね。25年後になると、相当変わってきていると思いますよ。ここ20年で携帯電話が出来て、通信機能もガラッと変わってますからね。
- ・職員もあまりいらなくなるかもしれませんね。
- ・職員の数も、議員の数も抑えようという流れになっていますものね。

《ファシリテーターの発言》

- ・いろいろな形で人が顔を会わせることが出来る町中にあることは将来を見越しても非常にメリットがあるということですね。

《メンバーの発言》

- ・普通の時には殆ど市役所には用事がないんですよ。年に1~2回あるか、なしか程度ですよ。やはり現在地にあると、公民館や買い物のついでに寄ることが出来るのはメリットですよ。

《ファシリテーターの発言》

- ・かなりメリットというか、何故現在地にしたのかという理由は色々なアイデアが出てきましたので、どれか一つでも市民に響いてくれば支持を受けられると思います。
あと、最大の課題は被災した後の復旧までの期間ですが、それは東日本大震災等で被災した庁舎がどれくらいで庁舎機能を回復できたのか、あるいは仮設庁舎がどのくらいの期間で現実に機能し始めたのか、を調べてもらうとおおよその見込みが出来るとおもいます。その辺りを具体的に示せば、もう少し説得力があるのかな、と思います。

《メンバーの発言》

- ・今回は、被災を受けるということを見込みつつ設計するわけですから、意外と復旧は早く出来るのではないかと思います。この資料はこのフロアに置いてはダメだよ、バックアップは必ず取っておくよ、という前提で運営していけば、早いと思いますよ。

《ファシリテーターの発言》

- ・あとは周辺ですよ。液状化で道路が通れない事や、津波で周りの家屋が被災した場合にがれき等で通行出来なくなる、という問題ですよ。

《メンバーの発言》

- ・そのことは、行政と市民が一緒になって片付けないといけないですよ。

《ファシリテーターの発言》

- ・県外からの応援やボランティア等を受けてということになるでしょうからね。恐らくこういう事を整理していくと、コストですね。一般財源で全てを作るということになる、ネックかなという風に思われますね。その上で提案としては、一部の機能は現庁舎を使い、新築分をコンパクトに圧縮して建設しましょう、ということでコストへの配慮は可能だと思いますので、それを打ち出していきましょう。設計事務所には、全館建て替えと部分建て替えの両方の案を作って貰いますけどね。

《メンバーの発言》

- ・それと、50～100年を見据えた時に、やはり現在地ないと困るでしょう。土地が広いですからね。当然50～100年後というと、再度建て替えがあるでしょうから、この程度の敷地があれば、ローテーションが可能ですよ。尚且つ町の中心部にありますから、現在地に残しましょうよ、ということがまちづくりの中心になりますよね。

《ファシリテーターの発言》

- ・現実的に、市庁舎が移転すると、県の出先庁舎、土木事務所や保健所等も恐らく安全性の面から一緒に動く必要が出てきますよね。このことは十分に予想されますので、この地域が空っぽになる怖れがありますよね。

《メンバーの発言》

- ・そういうことをみると、トータルのコストとしては相当高いものになりますよね。
- ・臼杵商業高校の周辺は農業振興地域に指定されていますよね。それらのマスタープランも作り変えるとなると、また1からということになりますよね。本当に今まで臼杵市が目指していた方向をほぼ180度変換する必要がありますよね。

《ファシリテーターの発言》

- ・新市街を向こうに作るという話になりますよね。

《メンバーの発言》

- ・それは不可能に近いですよ。

《ファシリテーターの発言》

- ・この時代に、そういう判断をするのか、ということですよね。

《メンバーの発言》

- ・もう少し、現実的にいこうよ、という話ですよ。

《ファシリテーターの発言》

- ・大友宗麟以降、420年の歴史をこの町は築いてきている。災害のリスクはあるが、それをこなせるような建て方は可能だということですよね。
一番のリスクというのは、被災後の1ヶ月程度使えない等の状況が発生することと、コストが高くなるも知れないということです。コストの代わりは部分建て替えという形で圧縮しましょう、という方向かなと思いますね。

《メンバーの発言》

- ・土木事務所や警察署等色々な物が動くとなれば、それは市民には直接的なお金の問題としては見えにくいかもしれませんが、考えてみれば相当なコストになるということですよね。

《ファシリテーターの発言》

- ・県費ではありますが、最終的には皆の税金ということです。移転して土地の取得も必要になりますしね。

《メンバーの発言》

- ・臼杵商業高校跡地は、被災して橋が壊れた場合などは、出るに出られなくなる可能性もありますしね。道路も大きいのを作らないとダメですよ。

《ファシリテーターの発言》

- ・おそらくその辺りは各班でどう整理をされるかですけど、インフラ整備は多少見込むような計画になると思います。
現在地は、液状化の恐れもありますが、インフラの整備は出来ているということです。

《メンバーの発言》

- ・臼杵商業高校跡地はあまりにも遠いですよね。まあ野津の人は近くなるかもしれませんが。
- ・一番可哀相なのは泊ヶ内とかあの辺の人ですよね。
- ・津久見に行った方が早いです。大分自動車道へ乗るときは津久見 IC から乗りますよ。交通の便も、車の通りが少ないから便利です。

《ファシリテーターの発言》

- ・残り 10 分程度ですので、発表をしていただきますので、発表者は整理をしていただけますか。

《メンバーの発言》

- ・メリットは生活の利便性や市民の皆様の使いやすさですね。また、まちづくりが現在地で行われてきたという蓄積が、歴史の中で大友宗麟がきてから 420 年経っている。また他の周辺施設、官公庁や市民会館との関わり合いが現在地ではすでに出来上がっている。また敷地の広さもメリットに上げられます。

デメリットとしては、災害時とコスト面の 2 つが挙げられます。災害については、被災しても復旧が可能で対応できる。もう一つは代替機能を消防署と市浜コミュニティセンターで行えるという事。災害時の復旧活動については、野津庁舎や 5 ヶ所ある支所機能を有効活用する。コスト面については、最終的には市民の負担になるので、移転となれば、周辺関連施設の移動も伴うのでコストは同様かかると思う。また、現在地に建てる場合は国の起債が使えないので、部分建て替えなど、最小限機能の新庁舎を建て替えることで、25 年後にはその時代の多様化に合わせて建て替えるという案もあります。

他に何かありますか。

- ・良いと思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・あとは設計事務所の方で、ラフなイメージというか、スケッチ、配置計画を作って貰うことになりますが、今日確認しておきたいことなどはありますか。

《設計事務所の発言》

- ・敷地は広いですが、建てられる位置は限られているので、南側、北側、東側にそれぞれ建てる案があるかと思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・部分建て替えですと、現在の西館とのからみがありますね。

《設計事務所の発言》

- ・位置が限られてきますね。また工事期間中に現庁舎の正面の玄関が使えなくなる可能性もあり

ますので。本来なら今建っている位置がベストなんですがね。あと、デザインイメージはまた、次の段階で、せつかくですので白杵らしさを出していければと思います。市民ホールのコンペの時は、私も昔参加したんですが、あの形がかつては最先端であったと思います。市民会館も当然その当時の近代的な建物になります。今回は当然、現在の最新のデザインでいければと思っています。

《メンバーの発言》

- ・それと、省エネのデザインですね。

《設計事務所の発言》

- ・省エネは勿論ですね。ですから、耐震、災害対策、省エネも必ず考えなければいけません。それから最近は木質化もよく言われています。その辺りは本当の設計プロポーザル段階での話になるかと思いますが。少し動かした中での、配置計画ですとかボリューム計画を、次回ご提案させていただければと考えています。西棟を残す案と同時に考えていこうと思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・そうですね。西棟のどのような機能を残せばよいのか。そのまま残すのか、機能を組み替えて残すのか、というようなことも含めて提案していただければと思います。

《設計事務所の発言》

- ・先ほど説明があったように、西棟は残しても、建物自体の寿命は20～30年で、限定的なものになるかと思いますが。

《ファシリテーターの発言》

- ・最終的にはですね、3月段階できちんとプレゼンテーションしなければいけません。今日は各班がどのような整理をしているのか、それをじっくり聞いた上で現在地の提案を次回に深めていければと思います。具体的な設計案が出てきますので、それを巡って、実務的な話として進めていく必要があると思います。
- ・市民のアンケートを取ったら、現在地が多いのではないですかね。

《メンバーの発言》

- ・そうですね。防災が最優先の考え方と2つに分かれるでしょうけどね。

《ファシリテーターの発言》

- ・では今回は、グループ討議を以上にて終了させていただきます。なかなか良い議論が出来たと思います。

以上

みんなで創ろう！“新”臼杵庁舎を考える市民会議 グループワーク まとめ

候補地 臼杵公園
ファシリテーター 日廻 文明
班の人数 2名

《ファシリテーターの発言》

- ・全員揃いましたね。今日はお一人途中退出しますがそれまで存分に議論しましょう。今、全体的な話がありました通り、あと残りが4回あります。3回でこの臼杵公園のグループの意見をまとめて、4回目の発表に備えることとなります。ポイントは順次お話させていただきます。4点ほどあります。「なぜ臼杵公園を選んだのか?」「選んだメリット?」当然ながら「課題」があり、その「解決方法」最終的にはプランにしてパワーポイントでまとめていく。当然そのための絵も必要である。そういう形でまとめていきます。最終的にはメンバーの中で4回目に発表していただきたい。今日は一人いませんが、随時話を進めていきます。では、今日はこのまへの続きである、「なぜ臼杵公園を選んだのか?」を最初にお話を聞いていきたいと思えます。

《メンバーの発言》

- ・その前に確認したいことがあるのですが、何人かの方から問い合わせがあったのが、臼杵公園自体が避難所に指定されているが、建設に際して制度的に制限があるのか?

《ファシリテーターの発言》

- ・庁舎が出来て、その庁舎が避難機能を含めば良いということになる。それを含めて庁舎を考えていけば問題ない。

《メンバーの発言》

- ・以前、市民会議の中で防災士の方からお話があったが、業務の上で庁舎の中で災害対策を行う本部をつくらせるとなると、そこに避難者が混雑すると業務に支障があるのではないかと。防災士の中では全国的に考えられていると聞いた。

《ファシリテーターの発言》

- ・避難対策本部は臼杵庁舎ではなく、消防署、コミュニティセンターが津波の場合の災害対策本部になっている。機能としてはそこで受け持つことになっている。臼杵公園はいくつかある中の避難所の指定なので、庁舎が出来た場合は、そこが災害対策本部になるということもある。そこに避難場所が来ると、津波の場合は指示が出しやすく、その後の対策が取りやすい。現在の消防署とコミュニティセンターの災害対策本部をどうするのか。新しい庁舎ができるときに災害対策本部の場所を考え直すのか、今のまま行くのかを検討する。臼杵公園に庁舎を建てた

際に、災害対策本部を移すことが不都合であるならば、今のままでも良い。臨機応変に対策する。大きな支障はきたさない。

では、話を戻しますが、なぜここが良いと思ったのか。

《メンバーの発言》

- ・最初は高台が良いと考え、旧臼杵商業か臼杵公園が良いと思った。どこが良いという思いはなかった。商業高校の方が広くて良いかと思った。この会議が始まったのが6~7月頃です。私は海浜の方に住んでいるのですが、毎日買い物に行く際に、道の拡張工事で道がきれいになっているのを見て、日に日に良いと思うようになった。皆が商業高校の方に行ったらせっかくきれいにしているのに、過疎化ももっとひどくなる。それなら、ここに臼杵城のようなイメージのものをつくってもらえると良い。高台なら臼杵公園が良いと思った。この前の台風で、避難勧告が出たが行くところがない。早く言ってくれば臼杵公園に行けるが、雨風を凌げる施設がない。市の庁舎をつくり1階に避難所があれば良い。できれば高台に市の庁舎と避難所があれば良いと日に日に思いが強くなる。それが街の活性化にもつながり、城のようなイメージの建物は観光客も喜ぶ。もし建設可能なら臼杵公園が良い。

《ファシリテーターの発言》

- ・臼杵市は平成になってから、中心市街地は点を整備し、線にし、面にしていく。この3段階をこれまでやってきて、日に日に良くなってきた。

《メンバーの発言》

- ・どんどんきれいになってきた。せっかくなら、以前から臼杵城が建つと良いと思っていた。費用の問題もあるのだろうか。

《ファシリテーターの発言》

- ・費用がないのもあるが、設計図や資料がないと復元できない。前面だけできたのは、写真が残っているからである。

《メンバーの発言》

- ・あそこだけでも良い感じ。せっかくなら向こうにあればよい。

《ファシリテーターの発言》

- ・まさに中心市街地の活性化と街づくりですね。むしろ、臼杵城のように。

《メンバーの発言》

- ・以前、豊後大野市に住んでいた。豊後大野市は6階建てです。1階はフリーで最上階はレストランなどにさせていただくと、避難も出来て良い。

《ファシリテーターの発言》

- ・今の話のポイントは中心市街地の景観のシンボルと避難所としての有効利用を考えていく必要があるということですね。今のお話は良くわかりました。

《メンバーの発言》

- ・まず以前の市民会議で臼杵公園と臼杵商業に絞った。臼杵商業はかなりの人数がいた。臼杵公園は二人しかいないのでこの案も残したいと思いこちらに参加した。避難所に指定されているが雨風が凌げない。災害時に2,3日、救援が来るのに時間がかかるので、身を守る場所が必要。それが庁舎か否かではなく、町なかで整備してきた。倒壊した住宅の撤去、お店の閉店。先月建築士の方から、昔に比べて空き家が増えていると聞いた。これで庁舎が別の場所に移ると住んでいる方も大変になる。何か残すことが出来るのか。

《ファシリテーターの発言》

- ・お二人とも選んだ理由は共通のポイントが多いようですね。中心市街地の活性化のためには市役所がここにはないといけないという具体的な理由があるか。市役所があることのメリットがあるのか。例えば年間、市役所に何回行きますか。

《メンバーの発言》

- ・そんなにないです。引越しや車の購入などで、住民票を取りに来るぐらい。普通に考えて、臼杵には大きな企業が無いので、そこで働いている人たちが大きな財力となるから。中心地にあった方が良い。

《ファシリテーターの発言》

- ・職員がいれば、交流の回数も増えますね。

《メンバーの発言》

- ・私も聞いたのが、企業も本社機能を郊外に移そうという話も聞こえてくるので、そうなると、棲み分けとして、生活環境にするのか、観光関係で整備していくのか、行政的に整備していくのか、いろいろな考えがある。

《ファシリテーターの発言》

- ・確かに400,300人、建物の中だけであれば250人ぐらいだけど、働いている人が常に行き来とするのは人の流れだということはよくわかる。本当になくなってしまったら、寂しくなる。中心市街地の活性化をやってきたことへの影響が大きい。もう少し具体的になるとよい。想像はできるが、今のサイクルの中で逆の現象を引き起こすのではないか。実際にそれほど市民との交流があるわけではないし、一般の人が市役所を訪れることは少ないし、その中でやはりなくなってしまえば、多くの人間が働く核であるから、臼杵市にとってマイナスのポイントが整理

出来れば良い。

《メンバーの発言》

- ・ JRさんが路線の本数を減らしている中で、無人駅も増やし、臼杵の場合は駅が5つある。今後、駅も統合するの否か。輸送手段としてそれに加え、高速道路。防災のことは100年、1000年に一度の事を中心に考えるのか、その時は仕方ないと思うのか。
- ・ 仕方ないということでしょうが、この前の台風ぐらいは考えた方が良いでしょう。

《ファシリテーターの発言》

- ・ 今のお話は市役所がなくなることで、防災機能が保てるのか。これが一つのポイントである。人口も集まっているので、防災機能が低下することも考えられる。もう一つは中心市街地の活性化は非常に市としても重要なポイントなので、まちづくりで取り組んできた。市役所が移転することが、これまでやってきたことのマイナスになるのではないかと。たくさんの方が行き来したり、車の流れ、交流の活性化が低下するのではないかと。その上で、市の活性化に対する影響、市民生活への影響、中心市街地にある方が、臼杵公園なら高台なので防災機能は高まる。そこでもう少し、市民生活、経済的な事にある問題の考え方を今後、深めていった方が良いでしょう。

《メンバーの発言》

- ・ 10年経った時に足の確保が難しくなる。庁舎があることでコミュニティバス、既存のバスの路線が変更されるのか。庁舎が移転されるとそれに合わせてルート変更されるのか。それで人が回らなくなる可能性もある。
- ・ この前、私は臼杵公園には駐車場確保は難しいと思っていた。臼杵の郵便局あたりに、道をつくっていただいて、上には車は置かず、コミュニティの車を市が確保して、10年経ったときにお年寄りがスーパーにも行けない。朝と夕方は市の方の足にして、現在地からバスで移動していただく。昼から夕方までは、お年寄りや買い物に利用していただく。観光客にも利用していただくが良い。

《ファシリテーターの発言》

- ・ 具体的な問題として公共交通は、市役所があると人の流れも車の流れもある。それがなくなると、まったく流れが変わってしまう。だから、中心市街地全体の活性化の問題が、公共交通の面ではデメリットであるということ。公共交通が大きな転換を迫られることは間違いない。駐車場は必要なものなので現在地を使えば良いということですね。大きな問題として公共交通も一つの項目として問題を取り上げていく必要がある。
- ・ 駐車場を現在地にすると、今回の大雨でも時間がかかり厳しかった。リスクは高い。その対策をしっかりとる必要がある。
- ・ なぜ選んだのかというお話を伺ってきた。整理すると、大きなポイントは中心市街地の活性化の継続もあり、災害の拠点機能などが大きな柱である。これらがなくなることでのマイナス面

を具体的にもう少し話を進めていきたい。意見をどんどん出していただきたい。今日はもう一つお伺いしたいことがある。ここを選んだ理由は当然メリットがあるからである。重複するかもしれませんが、小さなことでも良いので何か臼杵公園に市役所を置くことのメリットとして気が付くことがあるか。

《メンバーの発言》

- ・臼杵公園を散歩コースとして利用してみたい。整備されてきれいになるほど、臼杵の人は上から見ると街並みがきれいで、もっと利用したくなる。

《ファシリテーターの発言》

- ・実際、臼杵公園を散歩している人がいるが、知らない人から見ると上がって行かなくてはならないので、良いところなら上がるが、たいしたことなければ上がらない。

《メンバーの発言》

- ・臼杵城のような雰囲気而建てていただくと、一度は見てみたいと思うはずである。さらに行きたいと思うはず。竹田に比べると小さいが、年代的にはちょうど良い。

《ファシリテーターの発言》

- ・公園地として親しまれてきた。今の若い人は臼杵公園というのではないでしょうか。

《メンバーの発言》

- ・アプローチもいろいろな道があり、楽しいと思う。

《ファシリテーターの発言》

- ・より魅力を高めてどんどん見てもらいたい。確かにそうですね。庁舎に用事があり、それに加えて、ちょっと散策する。どうですかね。

《メンバーの発言》

- ・基本、現在地に建てるのはまずいと思っている。では、現在地の利用はどうするのか。近隣の不便はどうするのか。それを考えたときに、一番近くて安全なのが臼杵公園かと思う。現在地の整備はいろいろな案があると思うが、今のフェリー乗り場にも利用したり出来るのではないか。そうすれば、一つ核となる施設となる。

《ファシリテーターの発言》

- ・フェリーも公共交通の一つなので、庁舎の移転により現在地が空くことで、さらにそれに関連して考えていくことが出来るのではないか。

《メンバーの発言》

- ・利用者が経済的にマイナスになりにくいものを残したいと思う。道の駅など。

《ファシリテーターの発言》

- ・フェリーの件は確かに利用者が多いが、ただ通過しているだけであるという話も伺っている。中心市街地との関連で考えれば、今後、拠点があることをもっと生かしていけるということ。その可能性がある。それは、中心市街地へ残すことのメリットである。近隣の不便をなくす意見が出たが、人口密集地は市浜地区が一番で、その次が中心市街地だが、近隣不便をなくすこと、今までここに庁舎があったことを踏まえると、現在地に残すことは近隣にとってはメリットである。その重要度はどうか。他の地域のことと、臼杵市全体の事を考えて、近隣の不便をなくすことはどうか。例えば中心市街地に庁舎そのものを残さないといけないのか。いろいろなやり方がある。この人たちが困らないような機能だけを残すなど。この班の話は臼杵市の拠点が中心市街地にあるべきと考える班である。近隣の不便は代替手段でも対応できる。しかし、ここに拠点があるべきということはどうも少し考える必要がある。

《メンバーの発言》

- ・場所が移ってもたぶん不便はないと思う。市役所で働いている方が遠くへ行ってしまうと、住んでる人はどんどん高齢化する。それが心配。出来れば市の方が町なかにはいた方がよい。その雰囲気が良い。

《ファシリテーターの発言》

- ・中心市街地の全体的なまちづくりに影響する話ですね。要するに元気な人が多い方がよいということですね。不便は別の手段で解決できるかもしれないが、むしろ活気がなくなる方がデメリットである。裏を返せば、拠点があることのメリットである。他に何かメリットとして気づくことはありますか。

《メンバーの発言》

- ・以前の市民会議で出ていたのが、市役所があることで勤める人がいて、帰りに飲んで食べていただけなのでよいという意見があった。そして活気が出るし、経済効果もあるという街の人の意見が多く、出て行ってもらっては困るという意見もあった。

《ファシリテーターの発言》

- ・今の大分銀行の場所に以前の市役所があったのはご存知ですね。現在地へ移転した時も大きなマイナスだったと聞いている。どうしても車で通勤するので、以前の場所は飲食店が近いので、たかがこのくらいの距離でそれ程の影響がある。拠点がなくなり、300人の職員が居なくなるとどうなるか。

《メンバーの発言》

- ・ここにあったとしても10年先はどうかかわからない。しかし、なくなってしまうとより深刻である。だからこそ、若い人にどうやって住んでもらうか。自分の子供が帰ってきたり、企業を呼び込むとか。それが無ければ観光しかないの、臼杵城みたいな市役所を建てて景観を良くし、観光客を呼んでもらえる方が良い。

《ファシリテーターの発言》

- ・環境への波及効果も大きいですね。選んだ理由と、メリットということでしたが、ここで、臼杵公園でやることによる課題については現状ではどのように認識しているか。

《メンバーの発言》

- ・災害の事を考えると、仮に大きな津波・地震が起こった時に、臼杵公園の上は残るが周辺は被害が大きいことが予想される。その際、ある程度2,3日経てば救助が来るだろうが、市民サービスを復旧させるのには時間がかかると思う。道路のアクセスがどうなのか。そこも考えていけないといけない。庁舎があってもいろいろな人が来られて、防災機能をそこに置いて、ここは1月ぐらい凌げるようにすべき。人数にもよる。

《ファシリテーターの発言》

- ・今の話は、確かに周囲が一番被害を受ける。防災面ではデメリットがある。機能面については課題が残るということ。今現在、臼杵公園は避難所に指定されており、備蓄庫の中にテントを200張り準備している。メリットとしてはそういう設備を兼用できる。しかし、市の機能面を考えると復旧に時間がかかることが課題である。先ほど話したように、現状では消防署とコミュニティセンターが一体となって災害対策本部になるので、問題ない。
- ・もう一点、市役所の拠点としての庁舎があると、災害時に機動的に動けないデメリットをどう解決していくか。確かに災害対策本部は良いが通常の業務は災害時に拠点としての機能は使えない。実は今現在と同じ状況である。そこは現状のマニュアルによる対策が臼杵公園でも使えると思う。住民の避難の関係は新しい取り組みが入ってくるので、新たに対策を考えていくことが必要。

《メンバーの発言》

- ・メリットと考えると、櫓のように高台から廻りを見ることが出来る。もし、お城の上であれば消防署よりも街の様子が良く把握できる。復旧の面では使いやすい。

《ファシリテーターの発言》

- ・廻りが機動的に動けなくても、指示等出来ることはある。防災の周辺の災害が大きいのは確かなので、防災のやり方そのものを考え直さなくてはならないという課題がある。

《メンバーの発言》

- ・大きな災害が来ればどこでも同じ。とりあえず高台にあれば良いと思う。

《ファシリテーターの発言》

- ・津波災害の場合はその通りでしょう。特にハードとソフトでは白杵市ではソフト対策に力を入れている。

《メンバーの発言》

- ・とりあえず高いところで街が活性化するとなると白杵公園しかない。車で上がれる道が一つしかないのが問題である。もう一本車の進入路をつくれると良い。道も良くない。本当に市が建てるとすると予算がつくのか。

《ファシリテーターの発言》

- ・予算の件もある程度、プランが決まった後に詰めていかなくてはいけない。元々、市役所は予算がつかない。国の補助金は今までほとんどない。

《メンバーの発言》

- ・ないにしても観光が呼び込めれば予算がつかないのか。

《ファシリテーターの発言》

- ・高台に移転する場合は緊急防災・減災事業債というものがある。白杵公園は対象に入っているはず。それは平成 32 年度までである。3 年しかない。出来ないことはないが、かなり厳しい。緊急防災・減災事業債は事業費の 100%を自治体が借金し、その 7 割が返金される。つまり 3 割負担で建設できる。但し、高台に移転した場合です。

《メンバーの発言》

- ・皆さんの考えは、高台に移転する流れですよ。現在地という方もいますが、その際も高く建てるのでしょ。うけど。

《ファシリテーターの発言》

- ・では道の関係は現状のままでは難しいということですね。もう一本進入路がなければならぬということですよ。現在地に車を止めることもできるが、市役所へ直接行く人はどうなのか。車で行けるのが一番良いが、寄り付きが悪いなどのデメリットがある。たとえもう一本道があってもどうか分からない。それを解消するやり方が何かありますか。建築士会のプレゼンでは一方通行にして現状を変えないということでした。結局固定観念に捉われると今までのやり方しか浮かばないので、何か考えたいですよ。

《メンバーの発言》

- ・横浜の赤バスのように白杵も雰囲気の良い車で移動できるものをつくっていただくとよい。

《ファシリテーターの発言》

- ・ある場所までは行っていただいてそこからは専用車で行けば良いということですよね。今のお話はせっかくの場所なので、寄り付きを良くして市役所へ行くための手段を確保する。歩ける人は徒歩で行っても良い。

《メンバーの発言》

- ・市民会議では壮大な話が出て、全部掘って地下に立体駐車場をつくらうという話もあった。

《ファシリテーターの発言》

- ・一応検討しましたよね。想像を絶するコストになりましたが。そのところは今のお話のように巡回の専用車とか、あるいは個々の場所の駐車場としての使い方とか、組合せてプランをやりますから、課題として道の問題は大きいですが、解決方法をこの班のプランとしてはしっかりとつukらないといけない。

《メンバーの発言》

- ・コスモス病院の中で、市の担当課の方と一緒に地域の交通網について話し合っている。ここよりも田舎の方は高齢化率が高いので足の確保が難しい、既存のバス路線にコミュニティバスは入れないのでどうするのか。コミュニティバスを回しながら乗り継いでいけるような公共機関との共存が難しいのかどうか。人の動きをつくっていくと、庁舎はどこがいいのか。人が動けば経済も良くなる。庁舎だけの話だけでは難しいこともあるので、全体的に考えなくてはいけない。

《ファシリテーターの発言》

- ・今の道、市役所へ行くための手段についてのご意見は非常に大事なポイントなので、それをきっかけに、例えば市役所へ行く用事でなくても、この際、もうすこし機能的で抜本的なやり替えをした方が良い。

《メンバーの発言》

- ・免許を返してしまうと足がない高齢者の方は多い。上に建てて車は市が確保していただいて、いろいろなところへ回れるようにしてほしい。

《ファシリテーターの発言》

- ・確かに公共交通の問題が注目されている中で、市役所へ行くための手段を、これをきっかけにいろいろと考えていくべき。大きな課題である。案を示すときには、市役所へ行く方法を示す

ところまで考えなくてはいけない。

- ・では1時間経ちましたので休憩にしましょうか。

《ファシリテーターの発言》

- ・再開します。今日は欠席の方ですが、その方からレポートを頂いていますので先に紹介をさせて頂きます。今まで話してきたことについても触れていますが、まず課題についてのポイントとしては災害・まちづくり・利便性です。次に、臼杵の魅力を増幅すること、臼杵城の整備の中で考えていく、現在の庁舎は分庁ということで残す、新しい建物は建設可能な木造、自然エネルギーの観点でやっていくこと、避難時の避難施設を兼ねる、庁舎へのアプローチは道路の問題、新しい道路は作らないが、現存している庁舎（水道事業所）の屋上からの道路という案が出ている。検討しなければならない課題3点が、都市公園としての存在、文化財指定の問題、護国神社の問題などが挙げられる。
- ・今お話があったように、亀の首側の市民の憩いの場を大事にしなければならないこと、アクセス道路の問題を検討しなければならないこと、今後論点として整理されている点は、今お話しをしたところがほとんど挙がっていますのでさらに話を詰めてやっていきたいと思います。
- ・前半はなぜ選んだのかという選定理由、メリット、課題でしたが、道の問題、防災機能面と大きく二つを挙げていますが、他にまだありますか。

《メンバーの発言》

- ・当初からあったのですが、単独で庁舎を考えるのか分庁方式であるのかということがありましたが、それは今後決めてから庁舎の位置を決めるのか、ここの位置は分庁方式だからここにするのか、全体の中で話されるのかと思いますが。

《ファシリテーターの発言》

- ・この場所で臼杵庁舎をしたいとなった時に、それを実現できるような現実的なプランにしなければならないので、そう考えた時に分庁の方がここは実現しやすいとか、やっぱり市民機能考えた時は分庁ではない方がいいとかはこの班の中で決めた上で、あるいは私は両方でもいいのかなと思います。ただ、考え方としてはある程度一つに絞らないと現実性がなくなってしまいますので、ここで十分話をしながらでもいいと思いますし、先に決めてももちろんいいですし、少人数ですから、議論の途中で決めてもいいのではないのでしょうか。

《メンバーの発言》

- ・最終的にプレゼンをするにあたっては決めておく必要がありますね。「じゃあ、ここの公園地に一つ建てました」とした際に、例えば、東棟を残した時に東棟では何の課を残すのか、お城の公園地に何を持ってくるのか、野津では何を残すのか。子ども子育て課は別にありますし、おもてなし観光課は下にありますし、そういうのも最後は自分たちで考えて発表しますね。

《ファシリテーターの発言》

- ・ そうです、そこは案としてははっきりする必要がありますね。そうでないと現実的ではないので、その辺をプレゼンで聞かれたときに白杵公園の建物の中で賄えるのかとなった時に当然、面積の問題や費用にも影響するので、そこは最終的には決めておかなければならないと思います。
- ・ 今現在どうですか？全部そこにある必要はないと思うのか、やはり拠点機能として、行政的な機能としてここに集約でいいのか、あるいはもともとある建物を一部使う考え、あるいは逆にもっと他の所に求めるのか、ということなどに関して言えばどうですか。

《メンバーの発言》

- ・ 白杵城に拠点があって、今はインターネットなど色んなものが整備されていますから、以前あったところにちょっとしたものは残してもすぐに対応できるのではないかな。前あったところにもちょっとした支所のようなものがあつた方がいいのかなと思いますが、皆さんが全部対応できるのかよく分かりません。

《ファシリテーターの発言》

- ・ 拠点到全てがなくても現在の色々な手段が使えるばそういう方法もあると思います。

《メンバーの発言》

- ・ でも根本はそこにあつてもいいのではないかなと思う。

《ファシリテーターの発言》

- ・ 今、支所ではないですが、白杵市はもともと支所であつたものが連絡事務所という形で旧町村単位に残っています。それと、コミュニティセンターがもともと支所機能であつた所を建て替えるという手段で残っている所もありますが、市浜のように出来ているところもあります。ですから、地域のコミュニティの拠点の問題と併せてですね、今のお話は全てを集約する必要はないという建物ですね。
- ・ では、課としてはどうですか。例えば、行政組織でいくと農林関係は野津庁舎にあります。これは既に野津庁舎と白杵庁舎と存続することで基本的には決まっている。残りは全ての課がこの庁舎にありますよね。そういうことになるとやっぱり新庁舎も全ての課があることになるとこれは拠点ですから、現庁舎と分庁舎ということになるとそれは一つのやりかとして現実的な話ではありますね。ここを有効に使うということになると、白杵公園に建てる拠点は面積的にもかなり抑えられますね。そこのところはやはりどういう提案をするかというのはここでやっぱりちゃんと話しておかなければいけませんね。

《メンバーの発言》

- ・ 実際に必ずこの課はないといけないというのがありますか？ここは切り離せないとか。

《ファシリテーターの発言》

- ・それはもちろんありますが、ただそれは行政的な問題から考えると、例えば統廃合というものがありますので、そこは必ず機能的にはいりますけれども、二つの課を一緒にやっている市町村はいくらでもありますから、考え方そのものでどうにでもなります。ただその業務が無いということはできないですね。

《メンバーの発言》

- ・今ここの庁舎にある、選挙管理委員会や白津広域連合、監査委員会などはどうですか？

《ファシリテーターの発言》

- ・行政委員会という部分になりますが、必ずないといけないものです。

《メンバーの発言》

- ・例えば分庁にした時に、それはそばにないといけないのか、離れていてもいいのか。

《ファシリテーターの発言》

- ・離すことは可能です。

《メンバーの発言》

- ・そういう面での切り離しが可能な部分とそうではない部分とが一般市民にはわかりにくいと思う。婚姻届を出して、子どもが生まれて、幼稚園や小学校に入る手続きから、住所変更、ゆくゆくは死亡届とかありますよね。

《ファシリテーターの発言》

- ・いわゆる住民サービスに関する部分は身近にないと都合が悪いですよね。機能的には本来はそういう部分は近くにあるのが一番いいですよ。以前は支所というのがあって、住民サービスの一部ができるような、そういったことも行ってきましたが、やはりなかなか行政改革の必要性が増して、分散をすることによってどんどんコストがかかるものですから、傾向としては集約されているのが実態です。合併した時に一つずつあったけれど、本庁舎を建てる時に全て集約しようという傾向の方がどうしても多い。そこは議論があると思います。臼杵公園に建てるとなった場合は面積的なことや場所の問題などを考えると、拠点として全部集約するというのは現実的な話からいくと非常に厳しいのかなというように思います。

《メンバーの発言》

- ・高さ的にはあまり高く建てられないのですか。

《ファシリテーターの発言》

- ・景観として高層は難しいと思う。ただそこは色々な「こうやりたい」ということを出した上で、解決していく中に入れれば良いと思うので、まずは住民サービスなどを考えて、どうあったらいいのかということで話をまとめて、それから「でも現実的にはちょっと難しいな」という話はその後にやっていけば良いと思う。
- ・臼杵公園の場合は先ほどから出ているように、現庁舎との問題、ここを有効にどう使うか、あるいは、臼杵公園と距離が近いので、そこは現実的な案としては出す必要があるのかなど。この跡地の利用の仕方と密接に組み合わせて作らないといけない。

《メンバーの発言》

- ・現庁舎を一つ残して、後は壊してもらったら駐車場にして必ず無料にする。臼杵では色々なお祭りがありますよね。

《ファシリテーターの発言》

- ・ではこの古い庁舎はもう使わないということですか？

《メンバーの発言》

- ・そうですね。古いのはもう危ないのでしょうか？

《メンバーの発言》

- ・一応、耐震補強はしたので、計画的には20年くらいある。

《メンバーの発言》

- ・なんだか微妙ですね。

《メンバーの発言》

- ・長い目で見て20年後にも臼杵市が残っていてほしい。

《ファシリテーターの発言》

- ・ではどうですか。現庁舎を現実的な利用として考えた時に。

《メンバーの発言》

- ・私は、基本的に少し違うのですが、現庁舎はあまり使わない方がよいと思う。分庁ですが、一つはお城の上に何かしらものを建てて、他と違うのは、先ほど言った連絡事務所です。庁舎までは来なくても機能はアップさせたい。ある程度の距離で集落をいくつか作って概ねできるという考え。

《メンバーの発言》

- ・今大体やっているのではないかな？

《メンバーの発言》

- ・それがあまりできていない。事務的なものは出来るがそこで交付は出来ないで、とりあえず庁舎に来ないといけない。アクセスが良くなれば一か所でもいいが、そうでなければ連絡事務所機能は充実させてもらいたいし、そこに人数を派遣してほしいというのがある。ならば、お城に造っても、全部ではなく一部がある、あと市民が一番使う市民生活の部分の課はそれぞれの連絡事務所に機能を置いてほしいというのがある。

《メンバーの発言》

- ・その方がみんな年をとっていきから近いところの方がいい。

《メンバーの発言》

- ・経費の絡みが出てくるとは思いますが。

《ファシリテーターの発言》

- ・情報を扱いますから、人間を置かなくてはならないということになる。そこは一つの案としてそのように考えるということですから、あとはそれに対する課題を整理していかなくてはならないと思う。
- ・とにかく臼杵公園に庁舎を建てたいということに関しては、これからまとめていく必要がありますね。この班としては例えばそこで全部集約するという事なのか、あるいはこの跡地を上手く使うのかとか、今おっしゃるように、いやもっとそれは跡地ではなくて、もっと分散するというご意見があるようですから、課題の一つでもありますけど、庁舎を建てる場合の容量、形ということに関しては課題を整理しながらまとめていきたいと思えます。最終的に、全部の機能を集めるのか、ここ（現庁舎）と上手く調整してやるのがいいのか、これは非常に課題としてあるのかなと思う。
- ・あと、アクセスの問題、道の問題、住民サービス機能をどうするのか、分けるのか分けないのか、そういった課題もある。あとどんな課題があるか気が付いたところがありますか。前に課題に挙げていたのがありましたね。

《市職員の発言》

- ・前回の時にお配りしていたかと思うのですが、12項目あります。

《ファシリテーターの発言》

- ・それは何で挙がっていたものですか。

《市職員の発言》

- ・もともと事務局の方で、この場所に建てるにあたってこういう課題があるのではないかという形で前回お配りしてその課題を皆さん宿題という形にしていました。前回のお話の中では、良い方、夢の部分語りという形でその夢の部分語る中でやはり課題は課題として解決しようというお話でした。

《ファシリテーターの発言》

- ・細かい部分は別にして、6番は公共交通のことでちょっと出ました。7番の駐車場の確保はここ（現庁舎）ですね。アクセス道路の関連も出ましたね。

《メンバーの発言》

- ・おおかた今まで話したような内容ですね。あとは専門家の方でないとわからないですよ。人数が少ないので、発言の機会が多いですね。

（一名所用につき途中退席）

《ファシリテーターの発言》

- ・もう一回整理します。もう少し深めなければならないところ、途中で話ししたところをもう一回課題として次回話せるような感じで纏めて資料を差し上げます。

《メンバーの発言》

- ・この前発表して頂いた方の意見はないのですか。せっかくこの前初めてお話を聞いたので。

《傍聴席の発言》

- ・実は、最初に話をしようと思っていたら、プレゼンの中でほとんど自分の思いはこの通りですよという感じでお話を伺いました。やはり、ここのプランの場合はこの場所にあると非常に夢があって臼杵市のシンボリックな存在になることが一番のメリットだと思います。だけど現実的な問題にするためには課題を潰していかなければいけない。そこを今日挙げて、それをどう克服していくか、というところを話していきたい。一度にはできないので整理をしていきたい。

《メンバーの発言》

- ・せっかくだったら、もっと早くにこの前のプランを言って頂ければよかった。一緒に聞いていた他の人は、「早く言ってくれたらそういう風に思ったかもしれないのにね」ということを他の方から聞いたりもした。

《傍聴席の発言》

- ・ 私たちもこの会にちゃんと参加をしておけばよかったのですが、建築士会の若い人たちが出るだろうということにしていたら、あまり手を挙げていなかったので我々はこの街にずっと関わってきた関係もあり、少し自分たちで庁舎を考えてみようよと、いうことである程度具体的な案を考えていっていたのですよ。そうすると、市民会議の情報を確認すると我々が考えていることと全然違う方向にいつている。今までの街づくりとか、海浜から歩いて行くときとか、住んでいる人たちがどういう風はこの街を見ているのだろうかということ考えた時に私たちが今までつくってきたまちづくりの流れというものが、市と共に歩んできた市の方針というものの延長線上に考えられないのかなというのがすごくありました。それがグンと変わったときに違う、今まで考えてきたことと非常に繋がりが悪いなと感じて、私たちが考えたこと、その中で時間をもし設けられればということ陳情したのです。それによってあの時、「ちょっと時間がとれるかわかりませんが、皆さんに相談してからにします」ということだったので急きょそういう時間を設けて頂いたので早口でお話させて頂きました。

《メンバーの発言》

- ・ 私たちは無作為で選ばれて何もわからないで来ている。

《傍聴席の発言》

- ・ 一人いらっしゃって良かったと思っていた。

《メンバーの発言》

- ・ とりあえず高台に建ててほしいと思った。津波の映像を見ると高台ということ思ったのですが、本常にいつも歩いているとせつかくこんなに綺麗にしているのに、よそに行ったら、過疎化になる、もったいないなと思った。

《傍聴席の発言》

- ・ 調べてみると、これだけまちづくりに力を入れていてもずいぶん人口が減っている。それがまた庁舎が動くことによってもっとマイナスが大きくなるという感じがある。ここ（臼杵公園）に造るとどんどん人が増えるかということ、それは全体的には人口減少のスピードをどれだけ抑えられるか、あるいは魅力があると来てくれる人がいるか、この地にはこうしたいなというのがすごくある。

《メンバーの発言》

- ・ 最初に聞いた時に臼杵城に建てるのは、課題が多いとは聞いていた。

《傍聴席の発言》

- ・ 都市公園とか文化財とかそういうものも確かにたくさんありますが、本当にそういうことに大

きな被害が及ばないような造り方ができないかというのがあって、それで分庁方式になること、ここにこの庁舎が来ることによってこの地域で住んでいる人たちが、いざとなったときに避難をするときに安心できると思う。だから分庁という形で残っていくといいなというのがある。分庁にすることによって、現庁舎を耐震補強したのであと20年くらい使えれば、将来的にはまたこちらをやり替えなければいけなくなった時に、その時は人口減少がずっと進んでいるだろうから、それに対応したもう少しコンパクトな庁舎ができるかもしれないし、そういうことも考えると少しタイムラグがあることが経済的に良い方向にはたらくのではないかというようなこともある。そうすると、全体を一緒に造ってしまうよりかは、はるかにその方が経済的ではないかと思う。

《メンバーの発言》

- ・最初の頃は、まだ意識もないですから、市役所が本当はどこに建てばいいのかという感じで毎日過ごしていたら、せっかく道が広がった。祇園祭もさびれ始めている、竹宵の方がお客さんがいっぱい来ていて、ここに駐車場として利用していますよね。だからそういうイベントがあった時とか、まちが活性化するのに、市の機能がみんなよそに行ったら寂しくなるだろうなと、だんだんと日に日に思うようになって、歩いていたら、白杵公園に建てばいいのと思うようになった。

《傍聴席の発言》

- ・公共機関、庁舎とかあるとそういうところの動きがある。公共の建物がこの周りにきたことで、今日のようにイベントと重なって駐車場がいっぱいになっても、役所の人たちが車の誘導をしてくれた。もし庁舎が違うところだったら、そういうのが非常にやりにくくなる。公共機関と庁舎が近くにあることでそういう調整ができる。

《ファシリテーターの発言》

- ・先ほど話が冒頭にあったように、今の話も結局今までの白杵市のまちづくりの流れというものがその延長線上にあり、中心市街地の活性化や、中心市街地のまちづくりを考えると、流れとしてはそういうことになる。派生として先ほどお話があったとおりで、公共交通にしても観光にしてもまた新たにそれを拠点としているんなものが考えられていくのではないかという波及効果、そういったところが大きく、しかもその発想は、毎日中心市街地を買いもの等で動いている人がやっぱりここだよなど、自然発生的な思いで感じられたと。ただどうしても防災面や、まちづくりの二つ、お二人は同気の機転があったわけですが、そこで深めていかななくてはならないのが防災機能をどうしていくのか、周辺が非常にやられている環境になる可能性も多いので、拠点としての機能をどうするのか、あるいは現実的にアクセスの問題で、道をどうするのか、市民が寄り付くのはどうすればいいのか、それが地域の公共交通とも考えなければいけない。それと、分庁であるのか、拠点であるのか、そこはコストとかそういった面で一緒に考えていかないと決定できないかもしれないので、その辺は次回にそういう課題に関係がある

ところをこちらでも用意したい。

《メンバーの発言》

- ・防災も先ほどテントがどうのと言っていましたが、200 張りあるとか。でもテントに年寄りが寝られないのではないか。

《ファシリテーターの発言》

- ・本当に応急的なものとして避難場所になっているので、じゃあ冬の夜どうするのかという話になると対応できない、明日きたら困るので応急的なものとしてある。メリットはあるが全てが全体的に考えようとする、コストの問題が当然ある。参考になるものはお出しして、今日挙がったまちづくり防災を考えた機能で「やはりここなんだ」ということを踏まえて、先ほどありました交通の問題、分庁舎、本庁舎の問題、そしてアクセス、ここは大きな課題として色々な考え方がでましたが、もうちょっと深めていかないとプランになりませんから、そういったところをコストの情報も含めて、今後解決案を出すことで臼杵公園のプランを考えたいと思う。こういうところがもっと分かれば、もう少しプランを考えやすいと思うところはありませんか。

《メンバーの発言》

- ・そうですね、何階建てが建てられるのかとか。そうすると、建物によってどこまでが可能なのかとか考えられる。面積のどれだけ建ててもいいのかとかありますよね。縛りがあるとかないとか全然わからないので。

《ファシリテーターの発言》

- ・そこはちゃんと調べるように致します。分庁舎とか本庁舎の問題も直結しますよね。

《メンバーの発言》

- ・次回は三人になりますね。他の方がいるといいですね。

《ファシリテーターの発言》

- ・次回に向かって、この場所は防災拠点、町なかにあるべき、防災の建物としての存在が必要だから、防災としても使えるようにそこがいいということの理由付けがもっとほしい。あと 3 回ある中の 2 回でプランをつくっていくにあたり、ここはこれにしたいというところの理由付けを一つずつ付けていくという形でいきましょう。
- ・大きく言えばまちづくりの中心としてここにあるべきだということ。ここはかなり詰められると思う。例えば観光のメリット、散策の拠点、建物自体があることで観光の拠点になる、大きく中心市街地のこれまでの政策に非常に合致している、魅力が高まる、まちづくりの観点が一つ、防災の観点が一つ、大きく二つの柱になる、そこから議論としては枝分かれしたので、それを具体的にどうするのか、例えばまちづくりの拠点になるからとビルを建てるのではなくて、

この案にあったように木造の案やお城の形にしたいとかあるだろうし、そこは具体的にプランとして詰めていきたい。防災拠点にしてもどこに庁舎のどこにつくるのか、あるいは別なのか、ということをもう少し具体的に話しましょう。

- ・課題としてはアクセスの問題。
- ・ここにした理由は二つの観点だが、課題は分庁舎・本庁舎、アクセス、防災の観点でいいといったものの、周りが結局やられてしまうと本当に拠点になるのかという課題、その三つをもう少し具体的に深めていくには資料がいる、先ほどの規制の問題、現実的な問題、コストの問題、その辺を次回まとめられるようにしたい。
- ・コストについては分庁・本庁の場合、現庁舎を残すこと、建てるサイズで検討する。

以上

みんなで創ろう！ “新” 臼杵庁舎を考える市民会議 グループワーク まとめ

候補地 検察庁跡
ファシリテーター 稗田 勝一
班の人数 1名

《ファシリテーターの発言》

- ・メンバーの方が意見をまとめた用紙を配る
考え方で、課題の解決策をアドバイス頂きたい。最終的になぜここか、メリット、課題と図面、スケジュールをまとめてパワーポイントでプレゼンを行う。なぜここかなどはお配りした紙をみて説明をして頂きたいと思います。課題の解決方法が必要かと思いませんので、技術的なアドバイスが必要かと思いません。まずこの場所を選んだ理由をお願いします。

《メンバーの発言》

- ・今後メンバーが増えるよう頑張ります。前回の市民会議から参加しておりますので2年間かかわってきて自分の中で考えをまとめたものをご説明します。選んだ理由としては今後使用する年数を考え60年先まで庁舎を使用するとした際、良いところにある事を考えた。現在の庁舎は高度成長期に建設されたが、その時代とは変わって人口減少、高齢化を見据えた際、町の中心に庁舎が無いといけなかった。市役所に行ったついでに買い物、税務署など色々行ける。交通を考え出来るだけ自動車を運転せずに行け、公共交通を利用してもらいたいと考えている。そうゆう理由から街の中心にないといけなかった。前回の会議では臼杵公園の考えだったが色々な方と話してみると、公園は高台になっているので困るという意見があった。検察庁前の道路はバス停もあり拡張して利用しやすくなる。多くの人から、狭い土地なので建たないのではといわれたので、調べてみた。

※2mの棒で敷地を図った資料を提示。

裁判所まで購入出来たら理想です。裁判所は稼働してしているのでダメだと市役所から言われた。裁判所の建物から3m離れたテニスコート跡地まで購入出来たら建築可能かと思えます。裁判所の反対側の民有地も購入出来たら広さは十分だと思います。NTTの庁舎が24m×23mあり、民有地とテニスコート跡地が加われば、NTTの庁舎が十分入ると思えます。NTTの庁舎が5階分あれば広さは十分だと思います。同じ広さで、5階建てとして1階を駐車場の構成。70台くらいはとめれると思えます。東側の敷地は空き家が多いため敷地は広げられる可能性がある。今後裁判所が無くなる可能性もある。案として庁舎の中に裁判所が入ってもいいと考えている。バスも商業跡地に定期便が出来ると思えないので距離は近いが行きにくくなると思う。

- ・景観としては、臼杵公園から月桂寺の石垣が見えなくなるとの声もあるが、一番きれいに見える場所が臼杵公園にありそこからは見えるので問題ないとおもう。景観も大事なことだとおも

うが、そればかりを気にして、市民の生活を考えるべきだと思う。5階建てにしたいのは観光ガイドの方にも近くで白杵を一望できる場所が近くにないかと聞かれることがあるが今はない。5階に白杵の眺望を見ることができる場所ができ、お茶程度が飲める程度の施設があるといいと考えている。レストランは採算が取れないのでいい。売店が5階にあるといい。議会も入れてついでに傍聴できるなどいろいろな『ついで』がいっぱいできる市役所がいいと思う。いろんなことが一緒にできる場所に市役所があるのが良いと思う。倉敷のように町なかにあっても外観が町にあったものなら景観は崩れないとおもう。『辻の今泉』(近くの3階建ての建物)のようなものも違和感がない。

- ・今後、ハリケーン、阿蘇山の噴火、津波、ミサイルなど想定外のものばかりを気にしていたらどこにも何もできなくなる。商業跡地は津波には有利だとおもう。現在地案は費用が安く上がる。白杵公園は避難場所となっているので避難場所と市庁舎は同じ場所にあっては行けないとの国の方針がある。万が一の際、テントなど避難場所となる。また、現状グラウンドの利用率が高く憩いの場となっている。社会福祉センターを白杵公園の一角に規模縮小し建設し防災拠点となれば良いと思います。
- ・市役所は町の中心にあって、かつ平地にあり市民とともにまちづくりを出来る場所にあるべきだと考えます。
- ・マスコミが壊れたものだけを報道するため津波が来たら市庁舎が壊れると思っている人が多いが、そうではないと思う。設計事務所の方も何かの機会で言って頂きたい。報道は誇張するものだから、現実ではそのような事が無いと分かれば中心街にあるのが良いと思ってもらえると思う。

《ファシリテーターの発言》

- ・プレゼンするにあたり建ぺい率などでどのくらいの大きさが建つかを検討しないといけない。

《メンバーの発言》

- ・現状の建物を残すのは、前提とします。移す課に関しては市役所の方を交えて打ち合わせをしないと分からないが、市民課、議会は移るのがいいと思う。
建ぺい率など設計の方じゃないと分からない。

《ファシリテーターの発言》

- ・現状の西棟を移すイメージでしょうか。

《メンバーの発言》

- ・それでよいかと思えます。
- ・質問ですが、自分の考えた敷地にNTTの建物は建ちますか？
(NTTを出すのはメンバーの方に大きさが分かりやすいので)

《設計事務所の発言》

- ・一部が第1種住居業地域で建ぺい率が60%、商業地域は80%となっております。

《アドバイザーの発言》

- ・建築可能な具体的な面積をお願いします。(仮の敷地に対して)写真をもとに比率をだして建設可能な面積を出してください。このチームは少しリアリティを出した話し合いが課題なので確認が必要ですが、大まかな数字を出してください。競合する現在地、市民グラウンドと比べてどこがメリットなのかを考えていくのが良いです。

《メンバーの発言》

- ・私の考える中心は町の中の本当の中心であり、現在地は中心ではない。検察跡地は交通の便がよい。現在地は警察署の前を必ず通り、公民館、港に行く路線と同じになっているので渋滞になる。検察庁跡地は他の施設と交差していない。公共交通があれば大きな駐車場はいらないと思う。町の中のバスの便は増やす事は可能だと思います。駅と臼杵の街並み観光をする際に町の中に市役所があると、ある程度活気が保たれる。また人が歩く事で活気が出てくる。歩くことでお金が落ちる。

《アドバイザーの発言》

- ・まとめると現在地、市民グラウンドと比べてより中心部にあるのがよく交通状態の面からも有利である。駐車場は狭いと言われるだろうが車利用が減ることで解決できると考えている。規模は分散化で縮小できるとお考えになっている。

《メンバーの発言》

- ・警察や消防の方はすぐ行く必要はあるが市役所の職員は災害時にすぐ行く必要はない。

《アドバイザーの発言》

- ・建物は津波やテロ対策に対して強くすることはできるが、100%大丈夫という回答は出来ない。ただ、『どの程度強くする』というようなことはコストを掛ければ可能です。コストがかかるので、他の候補地より余分にコストが掛かるがこんなメリットがあると訴える事が出来れば検察庁跡地がいいと皆が思うと思います。

《メンバーの発言》

- ・臼杵庁舎はそこまでする必要がないとおもう。確率の極めて低いものに対してお金は掛ける必要はない。津波も内海なので東北のような規模は来ないと思う。お金をかけて税金が上がったり暮らしにくくなるのも良くない。

《アドバイザーの発言》

- ・災害の確率が低いとして、例えば市役所のいくつかの機能を山の上に置いておこう、などを整理してプレゼンを行えば賛同者が増えるのではないかとと思いますが。想定外のものを考えないのではなく、どの程度備えるかを考えた方が良くと思います。

《メンバーの発言》

- ・野津庁舎、消防署がバックアップにあたると思っていてそれ以上必要と思っていない。防災無線などは消防署にあると聞いている。

《アドバイザーの発言》

- ・現在地に可能な大きさはどのくらいでしょうか。

《設計事務所の発言》

- ・仮定の敷地ですが約 5500 m²となります。1 階駐車場+4 フロアです。4 フロアで 4600 m²。日影規制があるので 5 階は厳しいと思います。民有地を含めての計算なので実際はまだ少なくなると思います。

《アドバイザーの発言》

- ・日影を含めて今後検討してください。3 パターンで検討する為に、市役所から敷地の情報提供をして下さい。メンバーの方から出して頂きたいのは、3 パターンの土地の検討。災害が来た際の対応をまとめる事をお願いします。

《メンバーの発言》

災害用の壁をつくるなどを考慮するとなった場合は高台に作った方がよいと思うので、そこまでお金をかける必要が無いと考えている。しかし高台だと利便性が損なわれる。用途地域の問題はあるが、5 階建ての建物は出来るのでしょうか。

《設計事務所の発言》

- ・日影に関しては住宅のある東側と西側が不利になりますので検討しないと分かりません。

《アドバイザーの発言》

- ・用途地域を変えることは可能ですが、住まわれている方の権利を損ねる事となるのでかなり困難だと思います。住まわれている方の理解があれば可能な事ではありますが。

《ファシリテーターの発言》

- ・検察庁でないといけない理由として現在地や市民グラウンドと比べた際より中心地に立地している点。課題の中で敷地の液状化などはあるがどうでしょうか。

《メンバーの発言》

現在地、市民グラウンドよりかは安全と考えている。先人が町を作ったという事は大丈夫だと考えていて、高度成長期などに敷地が無くなり建てた場所のほうが比較的被害が大きい。

《ファシリテーターの発言》

- ・ どの候補地に関しても災害への意識が強く、今回プレゼンをすることで票取り合戦のような事になると思う。本日のプレゼンを聞いていてメリットは魅力的なものだと思います。ただ一つ災害の際のデメリットがある為、災害時の対策を考えればメリットがよりよくなるのではないかと思います。この場所が液状化しない証拠などはないのでしょうか

《設計事務所の発言》

- ・ ボーリングをして調査しないとわかりません。

《ファシリテーターの発言》

- ・ 聖母幼稚園建て替えの際は、かなり安定した土地だときいている。

《設計事務所の発言》

- ・ 液状化に関しての対策は工法がありますがコストがかかります。またどこまでするか、どの程度対策するかによってコストも変わっていきます。敷地内を対策しても、アクセスする道路が液状化すると通行が出来なくなる。

《メンバーの発言》

- ・ 災害やインフラに関して考えすぎると現在地が一番となるが、60年のまちづくりを考えると現庁舎の位置ではよくないと考えてます。インフラや建物の条件等から白杵公園は良くないと思う。

《設計事務所の発言》

- ・ 配布資料より液状化に関しては市民グラウンドより不利になっています。

《ファシリテーターの発言》

- ・ 対策の計算が出来るのでしょうか。

《設計事務所の発言》

- ・ ボーリング調査などをして対策は可能です。敷地内を対策しても廻りの敷地の影響はでるかと思えます。

《ファシリテーターの発言》

- ・基礎など杭は法律などで決まっているのでしょうか。

《設計事務所の発言》

- ・通常支持地盤まで杭は到達しているのが通常です。工法で違いはあります。

《設計事務所の発言》

- ・検討するパターンの確認ですが、① 裁判所+検察庁+民有地 ②裁判所+検察 ③検察で宜しいでしょうか。

《メンバーの発言》

- ・とりあえず現実的などころで裁判所のテニスコート跡地でしょうか

《ファシリテーターの発言》

- ・想定で購入するのは民有地とテニスコート跡地。面積と評価額などの資料が必要となる。

《設計事務所の発言》

- ・用途地域の区分の情報と各敷地の情報を提供いただきたいと思います。

《メンバーの発言》

- ・街の賑わいで60年と町の中心にないといけないと思う。市民の利便性を考えたときいい場所に建てたと思われる場所が良いと思います。

模型での検討

《アドバイザーの発言》

- ・別のチームのところで新庁舎の大きさを統一しようとなっていました。近隣については高さ関係は押さえなおしたほうが良いですね。日影を考慮した場合、前面道路に寄せて建てるようになりますよね。

《メンバーの発言》

- ・前面道路が拡張して入りやすくなるんです。

《アドバイザーの発言》

- ・庁舎がダイエットして規模を絞れば良いと思います。

《メンバーの発言》

- ・5階建て案で眺めがいいと思います。展望室とかでもいいが会議室などがあれば市民の方も来ますし、景観は重要だがある程度は犠牲がともなう。高齢になった際、自家用車に乗らずに暮らせるまちづくりが良いです。バスも本数を増やして職員にも率先して利用をして頂きたい。

《アドバイザーの発言》

- ・バスセンターを組み込んでもいいと思います。メンバーの思いを受けた設計して頂けると思いますので、市の方と業務を絞る必要があると思います。浸水はしないが津波はくる、液状化もする可能性はある。それでしたら道路の一部を液状化対策する、津波は2階以上に行けばよいとのことでプレゼンを行えばよいと思います。どの課を持っていくか考えましょう。イメージ的に規模を全体の半分にしないといけないと思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・総務課、市民課、税務課、保険健康課、高齢者支援課、福祉課は必要かと思います。

《メンバーの発言》

- ・議会も移して市民と近い存在にしたい。しかし大きな議場はいらないと思う。

《アドバイザーの発言》

- ・そこまで入れると庁舎が半分にはなりませんけどどのようにしましょうか。本日じゃなくても各課の面積は出すのは可能でしょうか。メンバーの方に考えて頂いてどの課を持っていくかを決めて下さい。

《ファシリテーターの発言》

- ・各課の面積は出すのは可能です。

《メンバーの発言》

- ・議会も移して市民と近い存在にしたい。しかし大きな議場はいらないと思う。

《ファシリテーターの発言》

- ・本日のまとめとしては、考え方の方針、敷地の情報、液状化の対策は必要、建物の大きさで高さをどのくらいにするか、どの課を持っていくか、敷地がどのパターンになるのか。

以上

みんなで創ろう！ “新” 臼杵庁舎を考える市民会議 グループワーク まとめ

候補地 消防署周辺
ファシリテーター 柳井 昭紀
班の人数 1名

《ファシリテーターの発言》

- ・消防署横が良いと思った理由はなんですか。

《メンバーの発言》

- ・消防署横に市役所が出来れば、この辺りの人口密集地をカバーできるということと、2～3キロの範囲ならばタクシーに乗っても料金的に負担にならないと考えたから。将来的に、インフラの老朽化も進んでおり、コンパクトシティの方向に移行していくのではないかと思う。そうなるこの場所は、比較的人口が密集していて、それなりに標高もあり、商業施設もあるので良いと思った。道路の強化等は必要になってくるかもしれないが、最終的にこの場所に人口集中を進める政策を打てば、長期的な持続可能性もできるのではと思った。逆に、商業跡地に庁舎を置くとすると、人口密集地からも離れるし、新規のインフラの開発も必要になってくる。今後、市役所の経費だけでなく、市の経費も抑えようとなったとき、全体としての整合性がつかなくなると思う。今の庁舎の場所も、普通に生活している人からみて遠いと感じるので、どうせ移すなら山側の、消防署横にと思った。将来的には市と都市機能を周辺に集中させるということもセットで考えると良いのではと思った。人口も今後減っていくはずなので、それでも持続可能性のある方向に持っていこうとすると、すでにある程度開発が進んでいるこの周辺を基軸に考えるのが良いと思う。田舎特有の、自動車がなくて役所に行けないという問題もある程度緩和出来るのではないかと思う。土地の問題ですが、コスモス病院が出来たというのもあって、山を削ったり、段々畑のようにするのもあるかと思います。

《設計事務所の発言》

- ・コスモス病院のように、建物を建てているレベルを下道路まで下げずに、上の方にそのまま建てるのであれば、造成費用は下がります。ですので、消防署の横の山を削って建てましょうとなって、レベルを合わせるとすると、かなり金額は上がってきます。
- ・この土地のデメリットについてですが、1つは送電線、2つはソーラーパネルのあるあたりに建てようとなったとき、その山の地権者が60程あるので、交渉が難しいのではないかということです。時間とお金さえあれば、時間をかけて出来るとは思うのですが、交渉可能エリアを絞って進めていくほうが良いと思います。3つ目は、ソーラーパネルの交渉です。この3つがデメリットとして考えられます。このエリア土地に関する諸問題が多くあるのかなと思います。

《メンバーの発言》

- ・ 解決の見込みが無さそうな程の問題ですか。

《設計事務所の発言》

- ・ はっきりとは分かりませんが、時間とお金で解決するという流れになりそうだと思います。

《市職員の発言》

- ・ 土地に関する登記簿等の情報は、市の方で調べてみます。

～敷地模型を見ながら～

《設計事務所の発言》

- ・ 駐車場の問題ですが、この庁舎が複合化すると、それに合わせて駐車場台数も増えていきますし、面積的にも厳しくなっていくと思います。

《ファシリテーターの発言》

- ・ 消防署南側の用地が取得できたら、敷地が広がって良い方向に進むのではないかと思いますのですが、どうでしょうか。

《アドバイザーの発言》

- ・ この敷地は送電線が弱点だと思っていたのですが、南側の用地が取得出来ればその問題も無くなるということで、素晴らしい事だと思います。
- ・ 消防署横の支持者を増やすためには、後何をすれば良いと思いますか。

《設計事務所の発言》

- ・ デメリットの部分を回避できる案を考えるという事だと思います。やるは良いけど現実味が無いということにならないようにしたい。実際に用地の交渉・取得が可能なのかといったところを調べて頂きたい。

《アドバイザーの発言》

- ・ この土地は商業高校跡地に比べて町なかにあるということが強みだと思うのですが、他に強みになる部分がありますか。

《メンバーの発言》

- ・ 将来的にはこの周辺に、都市機能を集中させて、外から人口移入を進めていったら良いのではないかと考えている。そうすれば市全体のコンパクトシティ構想が出来るのでは。

《アドバイザーの発言》

- ・それは商業高校の方だと集めにくいのですか。

《メンバーの発言》

- ・商業高校のほうが敷地はあるとは思いますが、庁舎が出来ると、それに付随して他の行政機関が移っていくのは目に見えているので、その分のインフラ開発をしなくてはいけなくなり、それを100年に亘って維持しなければいけなくなる。こちらの敷地は、そもそも住民が多く住んでいるし、どのみちインフラの整備は必須だと思う。

《アドバイザーの発言》

- ・広げる宅地が少ないという点についてはどう考えますか。

《メンバーの発言》

- ・だだっ広いところに、将来人口が減っていくかもしれないのに経費をかけて、将来的に負担が発生する投資をするよりは、すでにある所をより充実させていったほうが良いのではないかと思う。

《アドバイザーの発言》

- ・この場所の集積の仕方について、他の方が聞いたときになるほどと思えるものが欲しいですね。

《ファシリテーターの発言》

- ・ここで言う、集積の機能とは何なんでしょうか。

《アドバイザーの発言》

- ・行政の機能だけではなく、民間の企業でも、庁舎が移るんだったらそこに行きたいと考えるところがあるかと思います。

《メンバーの発言》

- ・住民の利便性を考えたときは、この周辺の人口集中を今後の課題として、移ってもらおうという方向にしていけば良いと思う。

《ファシリテーターの発言》

- ・私の感覚的に、今の庁舎を中心として考えたときに、中心が海側から山側へと移るだけで、距離感は何も変わらないと思うのですが、どうでしょうか。

《アドバイザーの発言》

- ・集積の移動の中にはいる。でも商業跡地だったら集積の移動の中にいないのでは、ということ

ですね。それに加えてリスクのある海沿いではないということが、この土地の強みですね。一人になった高齢者が集まれるような、一緒に住めるような場所があると良いですね。

《市職員の発言》

- ・ 消防署の横に、この地域のコミュニティセンターがありますし、道路沿いには老人ホームやグループホーム、病院等がそろっているので、この敷地のメリットになりそうですね。

《設計事務所の発言》

- ・ 今、消防署の横のこの辺でという感じで話が進んでいますが、この辺というのをもっと明確にしていきたいと思うのですが。

《ファシリテーターの発言》

- ・ そうしたら、また別の日のメンバー二人が集まれる時に話し合いをしましょう。年内は難しいと思うので、年明けの1月14日、日曜日はいかがでしょう。

《メンバーの発言》

- ・ 日曜日であれば基本的に大丈夫です。

《設計事務所の発言》

- ・ その日までに、私たちも周辺の土地の所有者を調べますが、市の方にも調べて頂きたいです。模型についても、大体の大きさで箱を作ってきたと思うのですが、駐車場については立体駐車場というイメージは無いと思うので、なるべく平でいきたいと思っています。

《市職員の発言》

次回の話し合いまでに用意する資料としては、地権者の資料ということでよろしいですか。

《設計事務所の発言》

- ・ それに加えて、それが交渉可能かどうかというイメージを頂けたらと思います。

以上

みんなで創ろう！ “新” 臼杵庁舎を考える市民会議 グループワーク まとめ

候補地 市民グラウンド
ファシリテーター 荻野 浩一
班の人数 1名

《ファシリテーターの発言》

- ・以前話をさせてもらいましたが、何か書いて来て頂けている物がありますか。

《メンバーの発言》

- ・市民グラウンド候補地は従来からの土地であり埋立地では無いので地震による液状化現象は起きない。建物計画は1階は来庁時の市民用駐車場として、2階は自走式で公用車用の駐車場とする。3、4、5階を執務スペースとし耐震性のある建物にし、これから人口も減るのでコンパクトな建物計画とする。建物には4か所エレベーターを計画する。
- ・建物の東側（津久見市側）には、NHKで放映されていたコーエイ工業(株)が特許を取得しているボラードを、2～3mおきに30本立てる。費用は6本で3,500万程度。ボラードとは海外のテロ対策で近年採用されており、地下に埋設された鋼管柱で自動車を感知して自動で昇降する。10tf車が衝突しても壊れない実験もされている。昇降時には3.0mまで上がりさらに3.0m伸びる車止めとなるので津波にも対応可能である。
- ・税務署から現市役所の土地は昔砂地であり液状化の可能性があるが、今の東九州石油から東中までの防波堤がある土地は昔からの土地で液状化現象は起きない。
- ・コンクリートと薬剤を入れた鋼管を地中に打ち込むと液状化現象を抑えられる方法もある。

《ファシリテーターの発言》

- ・アクセス道路については、どの様にお考えですか。

《メンバーの発言》

- ・小学校前の道路は広く拡張されており、その前を2軒ほど立ち退きをすると市民グラウンドへのアクセスが出来る。1階を駐車場として計画しており駐車場が不足することは無いだろうが、目の前にある柔剣道を他敷地へ移しても良いと考えている。
- ・現庁舎敷地へのアクセス道路は液状化もするので警察署の前までコンクリートで改良をすれば液状化しなくなるが市民グラウンドの方が液状化の恐れは少ない。
- ・ボラードの手前に、ブロック塀を6.0m立て、さらに強くする為にコンクリートの表面強化塗料を吹付すれば二重に防御でき、周辺建物が倒壊して流されてきても防ぐことができる。
- ・今から350年前と167年前に起きた大地震の時は津波が押し寄せたが、その当時の浸水域から考えて一番高い津波が来たときで辻地域が1.0m浸かると考えておけば十分と考える。

《ファシリテーターの発言》

- ・整理させていただきますと、今回は最初の会議で話があったように敷地の選択理由とメリット・デメリット、それと全体のスケジュールについてです。まず『どうして市民グラウンドを選んだか』についてはこの場所は液状化しないということ。仮に液状化しても敷地範囲だけ措置をすれば良いということ。現在地であれば液状化対応の措置もしないといけなし、アクセス道路も全面的にしないといけなし。それに比べたらはっきりとは判らないが液状化しないとするとも費用的にもこちらの方が安価となる。ボラードを中学校側へ設置するという考えで良いですか。

《ファシリテーターの発言》

- ・県が作成した液状化の想定資料を見ますと市民グラウンドは一部赤と黄色にかかっています。赤が一番危険な地域で黄色が次に危険な地域として表現されています。

地図を見ながら説明・確認

《メンバーの発言》

- ・東中の建っている所、東九州石油より入ったところにある防波堤より西には、昔工場（グンゼ）があった場所。埋立地では無いから液状化はしない。

《ファシリテーターの発言》

- ・液状化しないとの前提ですが他の敷地と比較して市民グラウンドを選択したのは埋立地ではないので現在地よりも液状化は可能性が低いのとアクセス道路も比較的液状化がしにくいという話ですね。

《メンバーの発言》

- ・液状化が心配であれば表層をコンクリートで補強していけば対応できる。

《ファシリテーターの発言》

- ・商業跡地等 他の候補地も上がっている中で、なぜ市民グラウンドなのか。

《メンバーの発言》

- ・白杵商業跡地は町の活性化にもならない上、アクセスが悪い。白杵市民の利便性が悪いため絶対反対がおきる。車を持ってない市民もいるのに自転車では行くことができない。九電が現在借りている土地も津波が来たら 1.0mは浸かるからできない。
- ・現在地もアクセス道路がすべて液状化するからどうにもできない。セメント杭で 2.0mピットに改良すれば液状化が起きないようにできる。
- ・オランダでは大潮の時に 50 c m くらい浸かる状況だったが、日本の企業が湾に沿って迫り上がる機械を設置して浸からないようにした。今度は機械に牡蠣が付着して機械が作動しなくなった

から牡蠣がつかない塗装を全面塗装することで再度海水に浸からないようになった。

- ・津波は最大できても 6.0m 想定している。

《ファシリテーターの発言》

- ・再度まとめると、庁舎は中心市街地に近いところに計画するということがいいですね。中心市街地の中でもなぜ現在地ではなく市民グラウンドかという市民グラウンドの方が液状化しない、仮にするとして対策をしても費用が安くなるということで良いですか。

《メンバーの発言》

- ・それで良い。

《ファシリテーターの発言》

- ・アクセス道路について再度確認です。

《メンバーの発言》

- ・中須賀大橋を 1 方向 2 車線にするという考えが良いと思う。橋を渡って直ぐ左に曲がって真直ぐ行くと白杵小学校があって少し広がっている。そこから奥に進んでいくと市民グラウンドに行きつく。

《ファシリテーターの発言》

- ・小学校から先は狭くなっていますよ。

《メンバーの発言》

- ・狭くなっている部分は一方通行にすればいい。市民会館とかでイベントがあると中須賀大橋が渋滞で動かなくなる。橋をもう一本つくといいが橋を造ると台風の時に橋桁に材木が引掛り倒壊する。市内の渋滞がとにかく酷い。

《ファシリテーターの発言》

- ・今後建設費用を算出するのに、お伺いしますが。アクセス道路について、道路幅は 2 路線でよろしいでしょうか。白杵小学校から先を拡幅したので良いのですか。聖母幼稚園の側は一方通行にしなくて良いですか。

《メンバーの発言》

- ・聖母幼稚園から入ってくる方は、入り口が狭いので教会側前が庭だから道路幅を 1m 位拡幅し、小学校前よりは、1 方通行にすれば良い。

《ファシリテーターの発言》

- ・ボラードの設置は、海側だけですか。全面でしょうか。

《メンバーの発言》

- ・全面するのも理想ですが金額が高いので、周りはブロックに特殊塗装が良い。津波の引き戻しを考えると、ボラードを 3.0mピッチで全面すれば良い。現状地はアクセス道路をすべて液状化対策しないといけないから、市民グラウンドはその分の対策費をボラード設置の費用にあてられる。

《設計事務所の発言》

- ・黄色と赤の色分けは液状化の発生確率を表した数値で地震と地力の比率を表した数値です。

《メンバーの発言》

- ・市民グラウンドの敷地は従来の土地で埋立地ではないから液状化は起きない。

《設計事務所の発言》

- ・柔剣道場の地盤データがあれば液状化するかしらないかの判別は行うことができます。

《メンバーの発言》

- ・イベントがあるときは中須賀大橋が込み合うので片側 2 車線にすればより交通は良くなる。

《アドバイザーの発言》

- ・地盤は液状化の範囲では黄色で可能性が低いですね。駐車場は敷地内に入るかと、あとは津波が来た時にどうするかですね。

《メンバーの発言》

- ・夜間に津波が来るとどうするかという問題がある。1 階を市民駐車場にして 2 階は公用車駐車場として 3 階より上を庁舎とすることで被害を受けない建物にすることができる。

《設計事務所の発言》

- ・市民グラウンドは海拔 2.0 の土地で津波の最大想定が 6.0m なので 1 階階高を 4.0m とすれば想定の上では 2 階の公用車は被害を受けないこととなります。

《アドバイザーの発言》

- ・佐伯市役所の 1 階の正面玄関はどうしているのですかね。市民課が被害を受けるわけにはいきませんよね。そうしたら 1 階は全てピロティにしてエレベーターで直接 3 階に行く案でいいじゃないですか。正面玄関はなしでいいじゃないですか。

《メンバーの発言》

- ・ コーエイ工業のボラードを設置すれば津波を塞ぎ止めることで防げる。

《アドバイザーの発言》

- ・ 水は抜けてくるから市民課も被災後に住民票を出さないといけないため被害を受けるわけにはいかないから、エレベーターで3階に直接上がる案でいいですね。エレベーターは被害を受けて使えなくなるから階段で上がるということですね。

《メンバーの発言》

- ・ 昼間であれば避難もできるし大丈夫だけど、夜間に津波が来ると避難もできないから公用車は上に上げておかないといけないのですよ。だからボラードを設置して津波からも守れるようにする計画として考えています。

《アドバイザーの発言》

- ・ 敷地全体にすると費用が掛かりすぎるから建物周囲に格子状の柱を設けて水だけが建物下を通過するようにした方が良いでしょう。この絵を設計事務所に描いてもらってみんなの前で説明をしていきましょう。

《メンバーの発言》

- ・ 市民グラウンドは現市庁舎の跡を市民グラウンドに再整備すれば良い。

模型を見ながら打合せ

《メンバーの発言》

- ・ 教会の庭を拡幅して、小学校前を一方通行にしたらいいと考えています。

《設計事務所の発言》

- ・ コスト的に考えると聖母幼稚園の前のみを整備した方が距離的にも短いので安価でできます。

《ファシリテーターの発言》

- ・ 住宅地で民家が建っているので歩通行にはできないので聖母幼稚園前を整備する方がいいですね。

《ファシリテーターの発言》

- ・ 液状化に関して言えば、黄色い範囲は赤に比べれば危険性は低いが、まったく無いとは言えないとなれば対応を検討して発表していかなければならない。まずは近所で柔剣道場等を建設しているのでボーリング調査の結果が残っているか探してみます。建物規模（面積）は、他のグ

ループと統一した規模で、今後検討して行きましょう。

《メンバーの発言》

- ・街の賑わいも考え利便性も考慮して自転車でも行ける場所でアクセスの良い場所が良い。その中では現庁舎か検察跡か市民グラウンドの位置しかない。その中で液状化対策費用を考えるとこの市民グラウンドしかない。

以上